

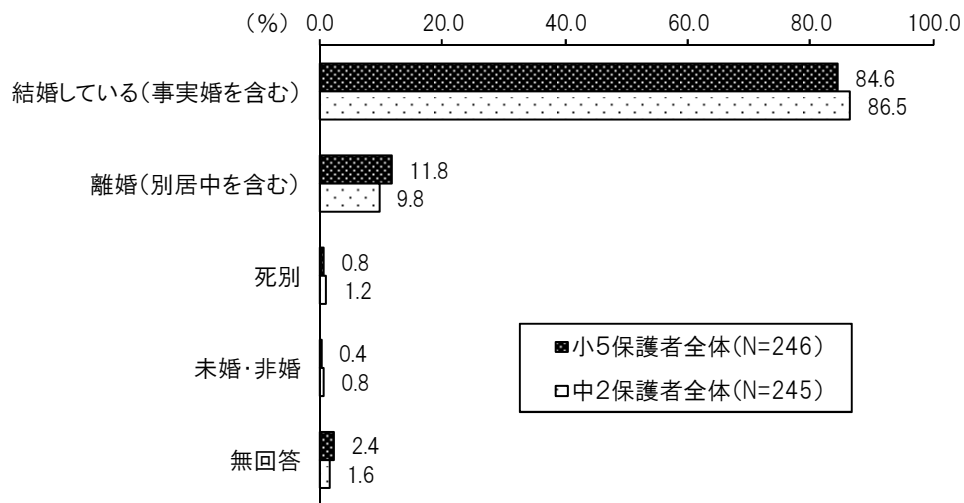
第7章 保護者の状況

【1】回答者

（1）婚姻状況

保／問5 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

婚姻状況については、小学5年保護者、中学2年保護者ともに「結婚している（事実婚を含む）」が8割以上を占め、「離婚（別居中を含む）」が1割程度となっている。



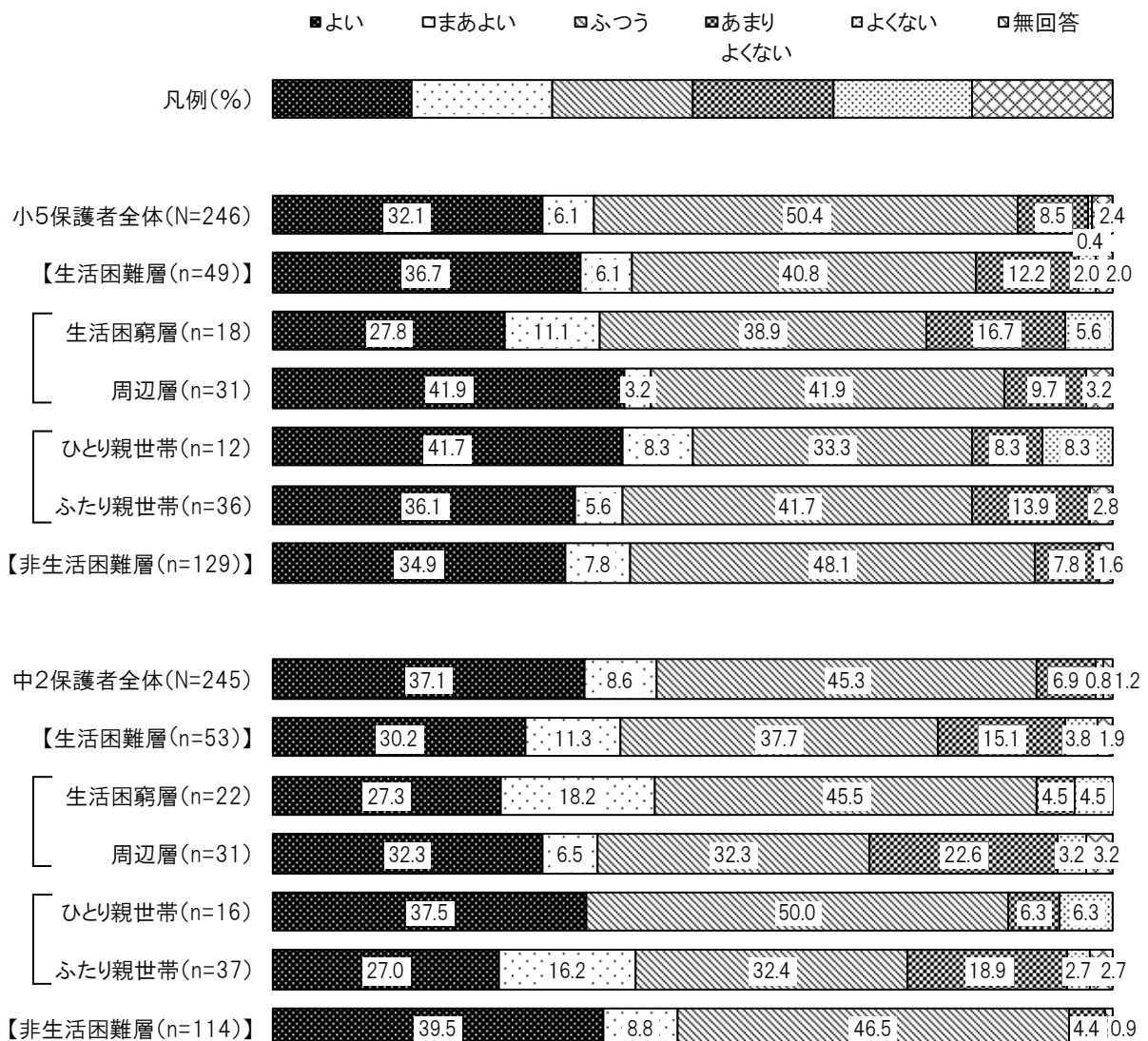
(2) 健康状態

保／問 15-1 あなたの健康状態についておうかがいします。最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態については、小学5年保護者全体では「よい」の割合が32.1%、中学2年保護者全体では37.1%となっている。一方、「あまりよくない」「よくない」の合計は、小学5年保護者全体では8.9%、中学2年保護者全体では7.7%となっている。

生活困難度別にみた『よくない(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.3%、周辺層で9.7%、中学2年保護者の生活困窮層で9.0%、周辺層で25.8%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で『よくない(合計)』の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「ふつう」が約４割を占めており、「よい」「あまりよくない」が各２割程度となっている。

問14－1 健康状態／回答者	回答割合(%)	回答件数
よい	22.4	11
まあよい	6.1	3
ふつう	42.9	21
あまりよくない	20.4	10
よくない	8.2	4
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

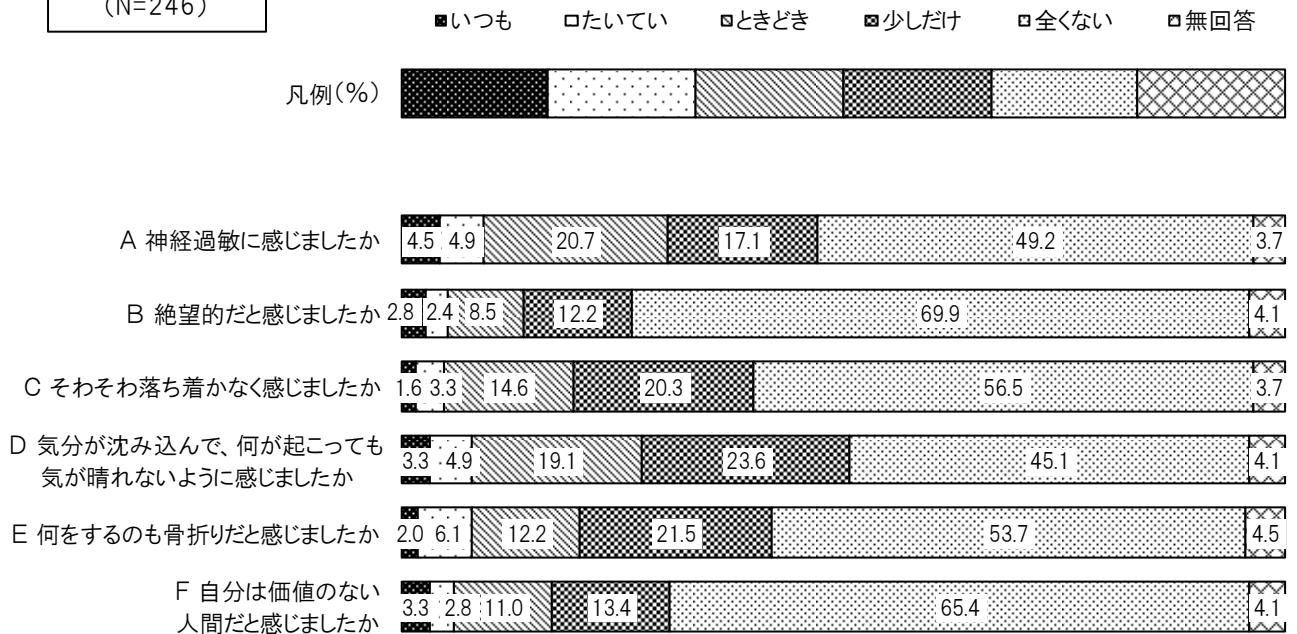
(3) 心の状態

保／問 18 次のA～Fの質問について、あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

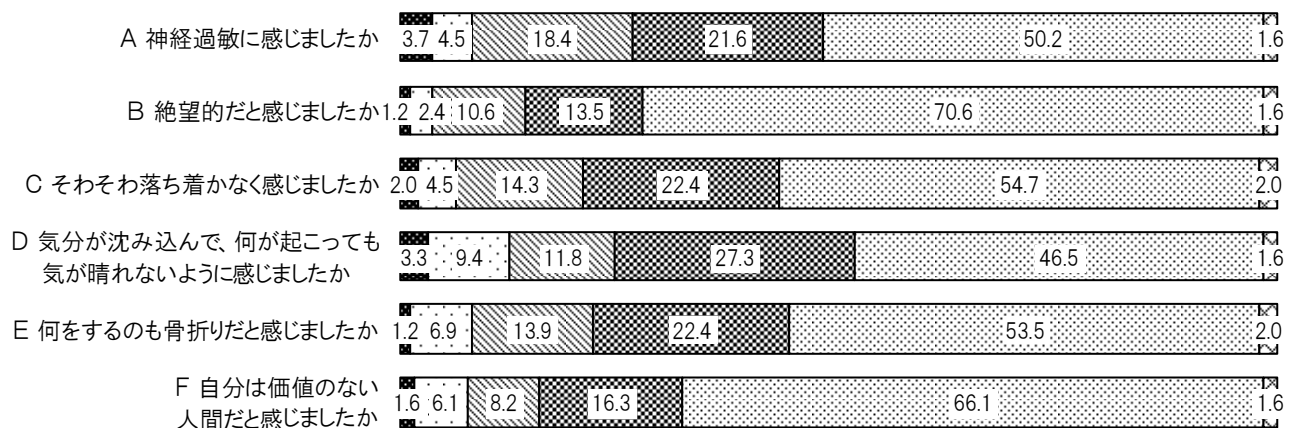
心の状態について、小学5年保護者全体では、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合計した割合が高い順に「A 神経過敏に感じる」(30.1%)、「D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じる」(27.3%)、「E 何をするのも骨折りだと感じる」(20.3%)となっている。

中学2年保護者全体では、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合計した割合が高い順に「A 神経過敏に感じる」(26.6%)、「D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じる」(24.5%)、「E 何をするのも骨折りだと感じる」(22.0%)となっている。

小5保護者全体
(N=246)



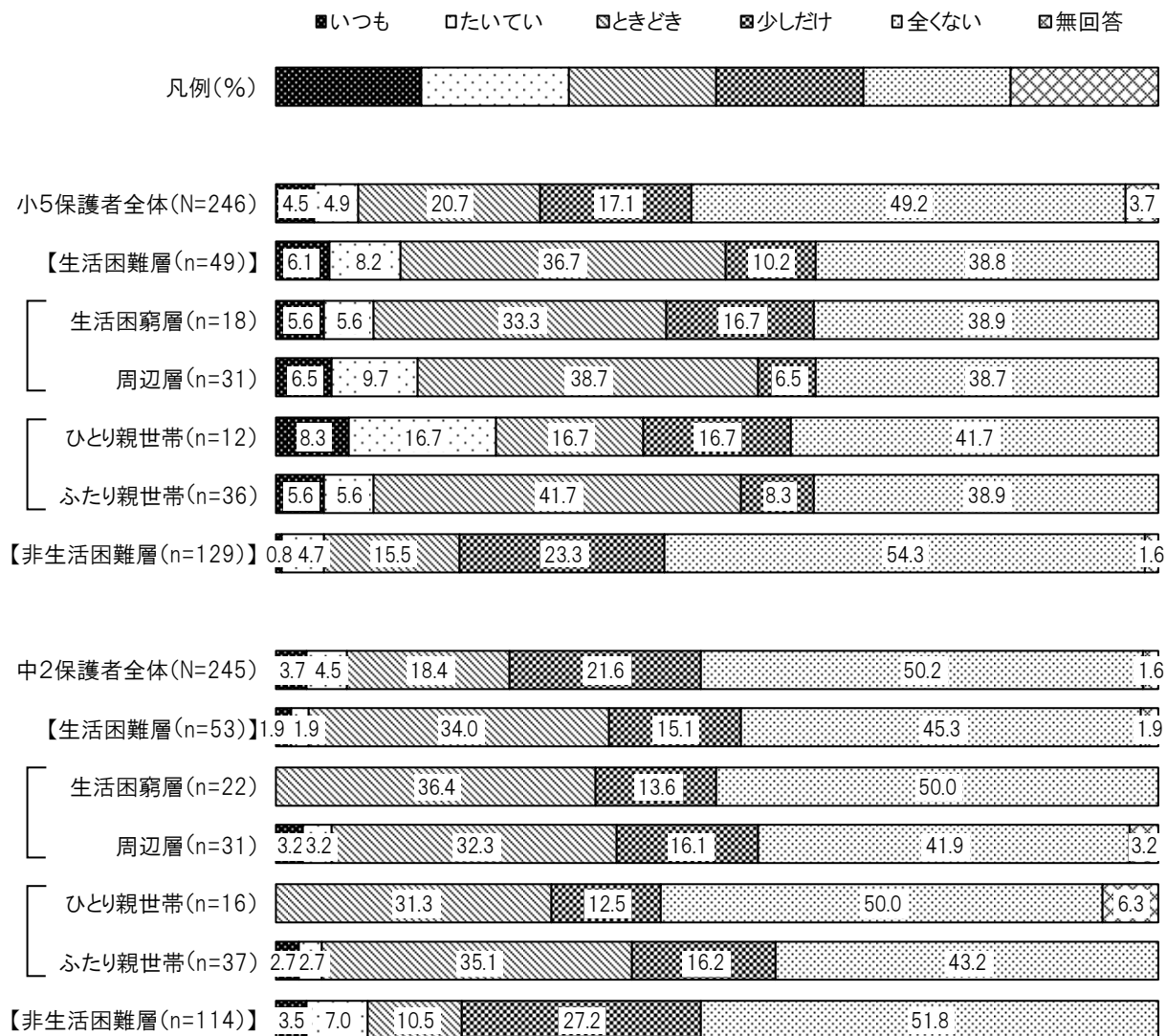
中2保護者全体
(N=245)



A 神経過敏に感じましたか

神経過敏に感じることにについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で44.5%、周辺層で54.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で36.4%、周辺層で38.7%となっている。

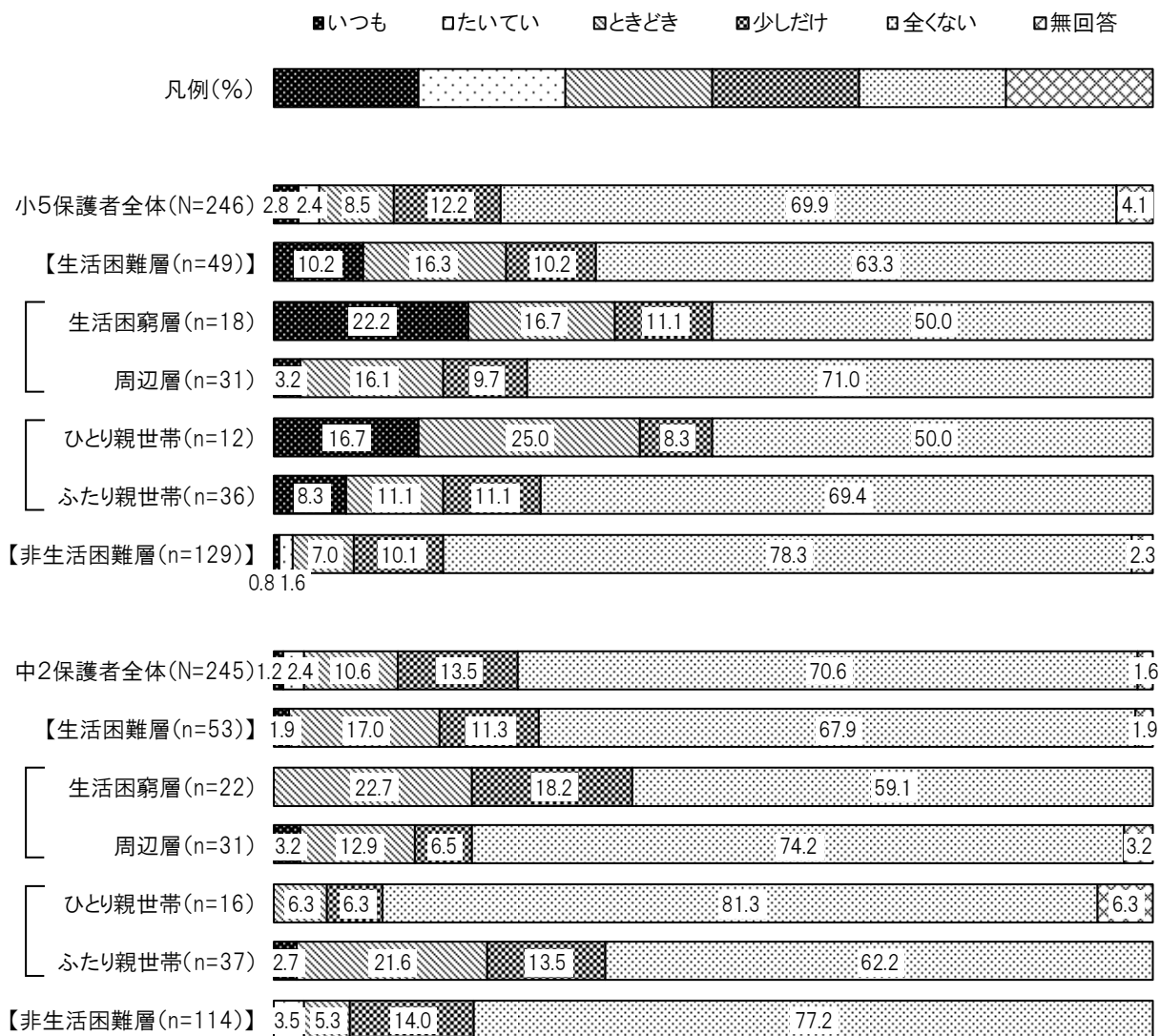
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計がひとり親世帯に比べて高くなっている。



B 絶望的だと感じましたか

絶望的だと感じるについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で 38.9%、周辺層で 19.3%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 22.7%、周辺層で 16.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

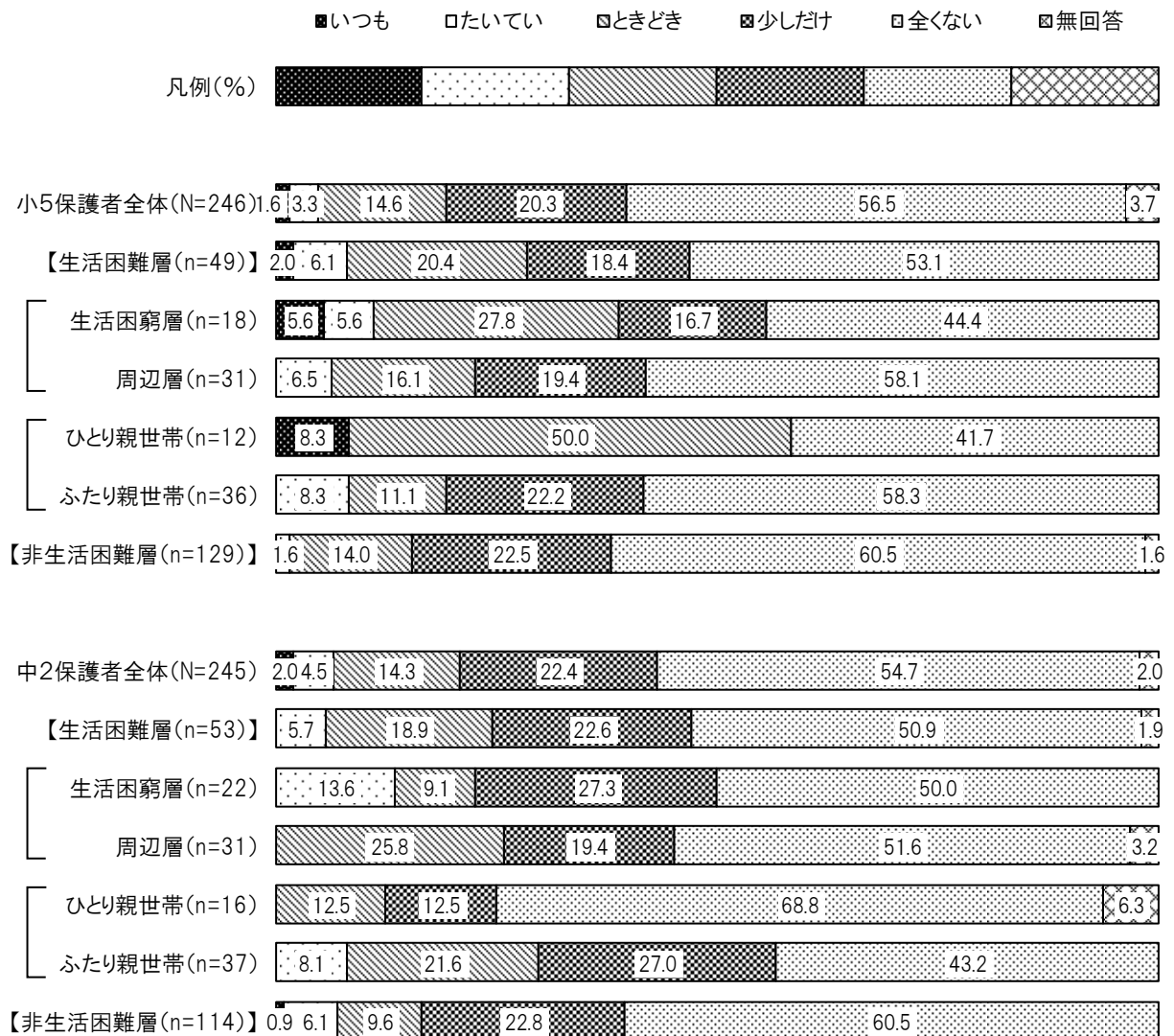
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯、中学2年保護者のふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計が他の層に比べて高くなっている。



C そわそわ落ち着かなく感じましたか

そわそわ落ち着かなく感じるについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で 39.0%、周辺層で 22.6%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 22.7%、周辺層で 25.8%となっている。

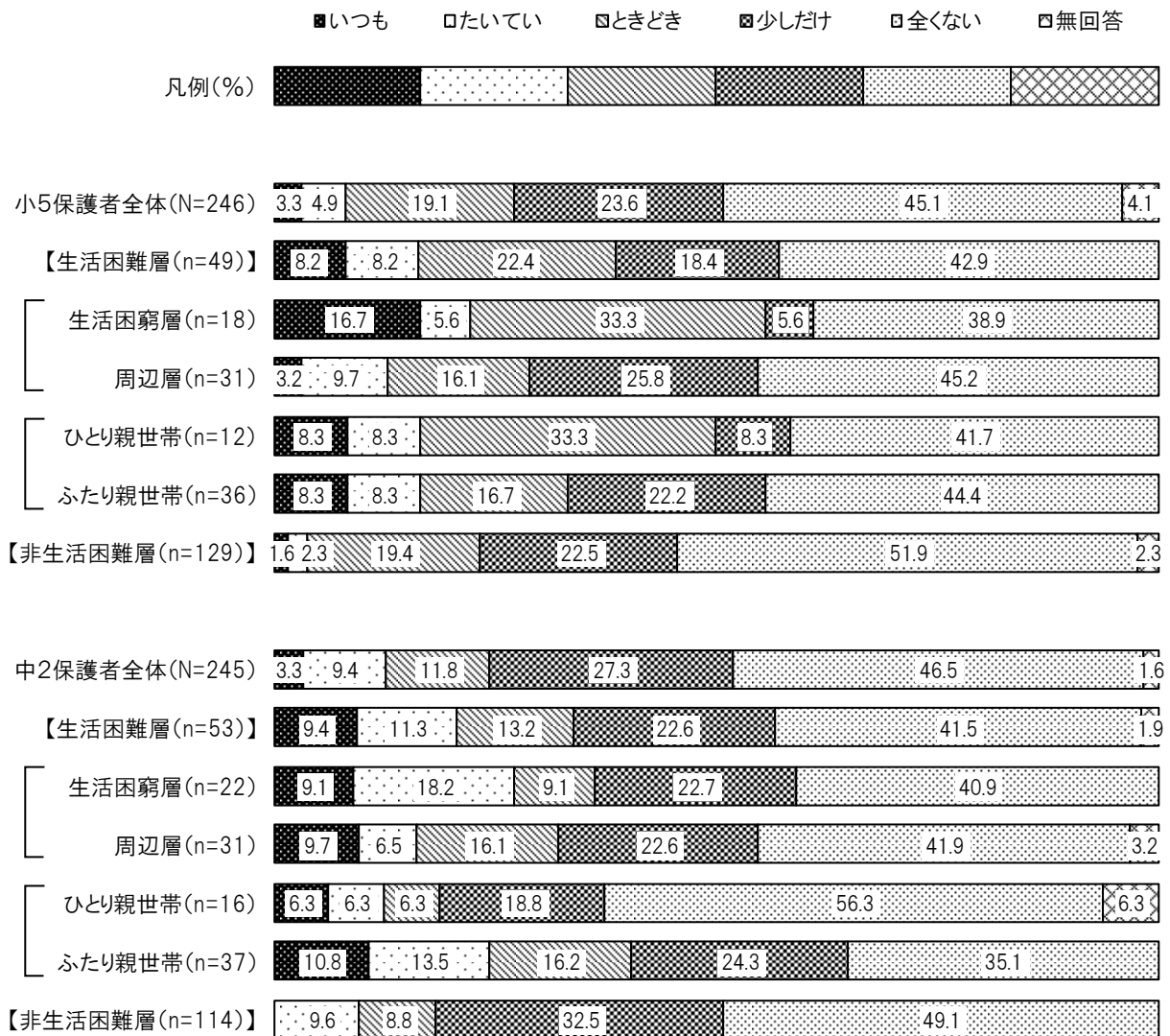
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯、中学2年保護者のふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計が他の層に比べて高くなっている。



D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか

気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じるについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で55.6%、周辺層で29.0%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で36.4%、周辺層で32.3%となっている。

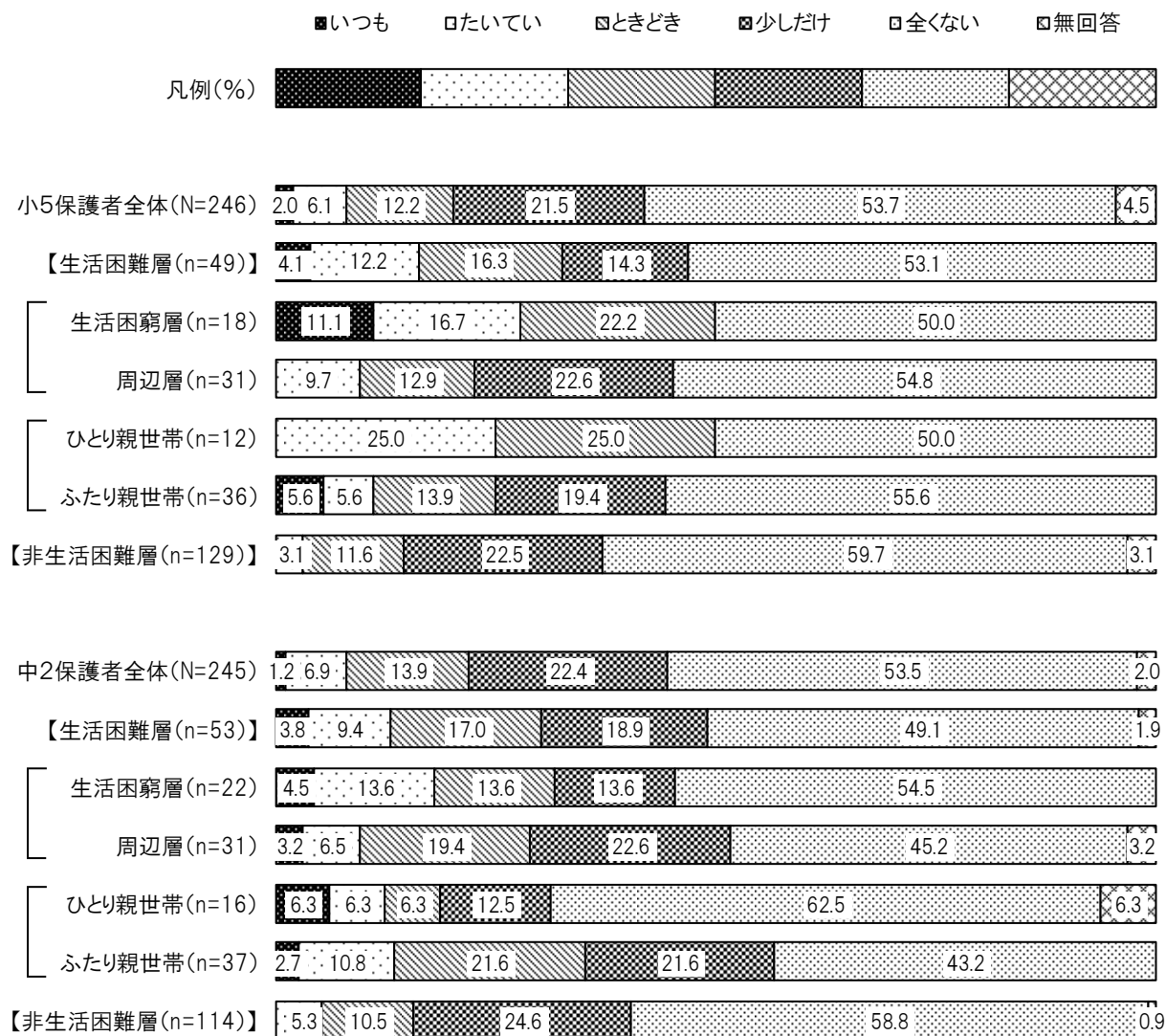
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯、中学2年保護者のふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計が他の層に比べて高くなっている。



E 何をするのも骨折りだと感じましたか

何をするのも骨折りだと感じることにについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で 50.0%、周辺層で 22.6%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 31.7%、周辺層で 29.1%となっている。

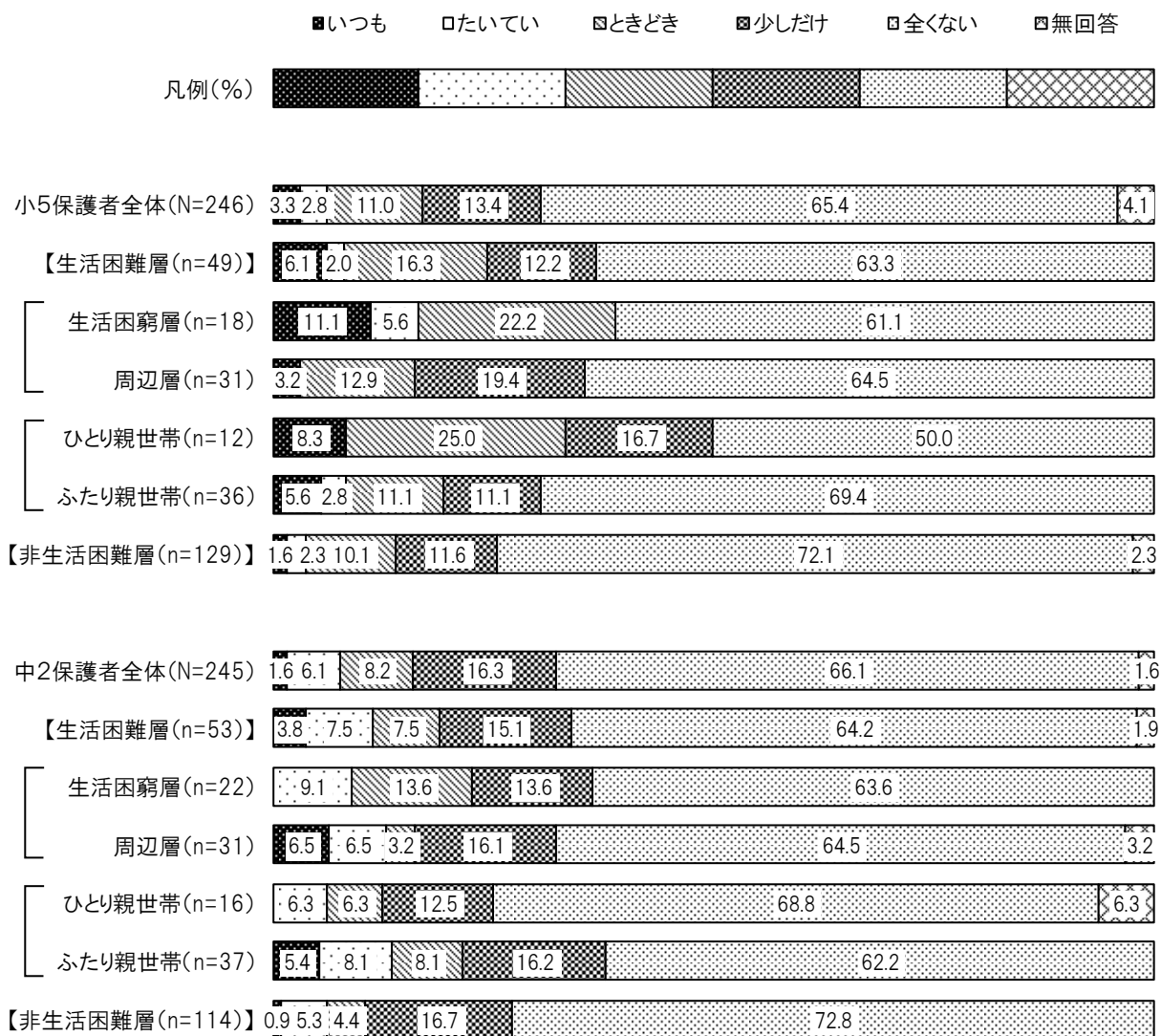
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯、中学2年保護者のふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計が他の層に比べて高くなっている。



F 自分は価値のない人間だと感じましたか

自分は価値のない人間だと感じることにについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で 38.9%、周辺層で 16.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 22.7%、周辺層で 16.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯、中学2年保護者のふたり親世帯で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計が他の層に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「いつも」「たいてい」の合計割合が高い順に、「A 神経過敏に感じる」「D 気分が沈み込んで気が晴れないように感じる」「E 何をするのも骨折りだと感じる」などとなっている。

問17 直近1か月での経験／A 神経過敏に感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	10.2	5
たいてい	12.2	6
ときどき	12.2	6
少しだけ	22.4	11
全くない	42.9	21
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問17 直近1か月での経験／B 絶望的だと感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	8.2	4
たいてい	6.1	3
ときどき	16.3	8
少しだけ	18.4	9
全くない	51.0	25
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問17 直近1か月での経験／C そわそわ落ち着かなく感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	6.1	3
たいてい	8.2	4
ときどき	16.3	8
少しだけ	20.4	10
全くない	46.9	23
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問17 直近1か月での経験／D 気分が沈み込んで気が晴れないように感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	12.2	6
たいてい	10.2	5
ときどき	22.4	11
少しだけ	14.3	7
全くない	40.8	20
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問17 直近1か月での経験／E 何をするのも骨折りだと感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	6.1	3
たいてい	16.3	8
ときどき	12.2	6
少しだけ	20.4	10
全くない	44.9	22
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

問17 直近1か月での経験／F 自分は価値のない人間だと感じたか	回答割合(%)	回答件数
いつも	8.2	4
たいてい	6.1	3
ときどき	20.4	10
少しだけ	18.4	9
全くない	44.9	22
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

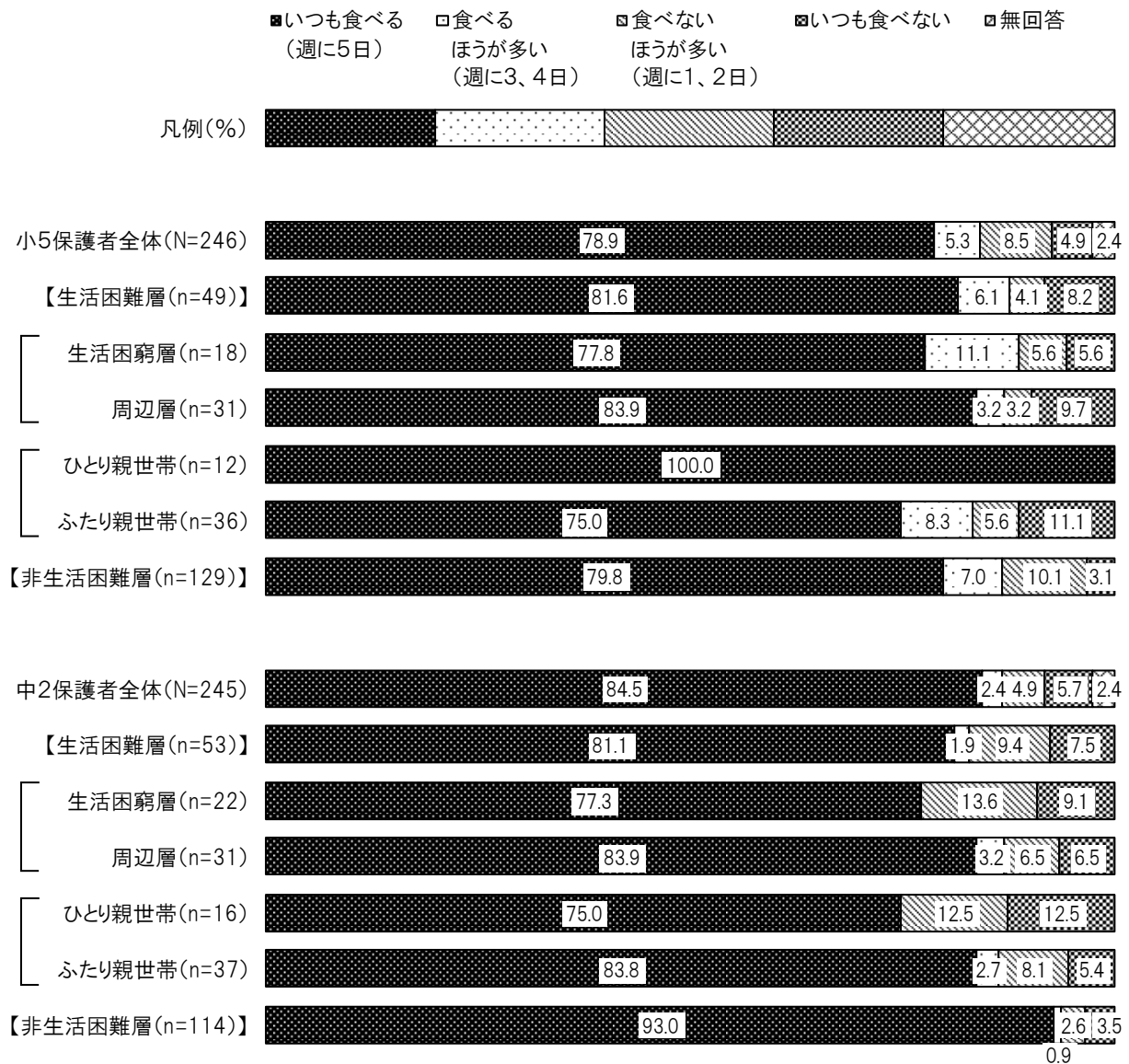
(4) 朝食をとる頻度

保／問 23 あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。
(あてはまる番号1つに○)

朝食をとる頻度について、小学5年保護者全体では「いつも食べる（週に5日）」が78.9%と最も高く、次いで「食べないほうが多い（週に1、2日）」(8.5%)となっている。中学2年保護者全体では「いつも食べる（週に5日）」が84.5%と最も高く、次いで「いつも食べない」（5.7%）となっている。

生活困難度別にみた「いつも食べる（週に5日）」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で77.8%、中学2年保護者で77.3%となっており、生活困難度が高い層ほどやや低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のふたり親世帯、中学2年保護者のひとり親世帯で「いつも食べる（週に5日）」の割合が他の層に比べて低くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「いつも食べる（週に5日）」が約7割を占めており、「いつも食べない」は1割程度みられた。

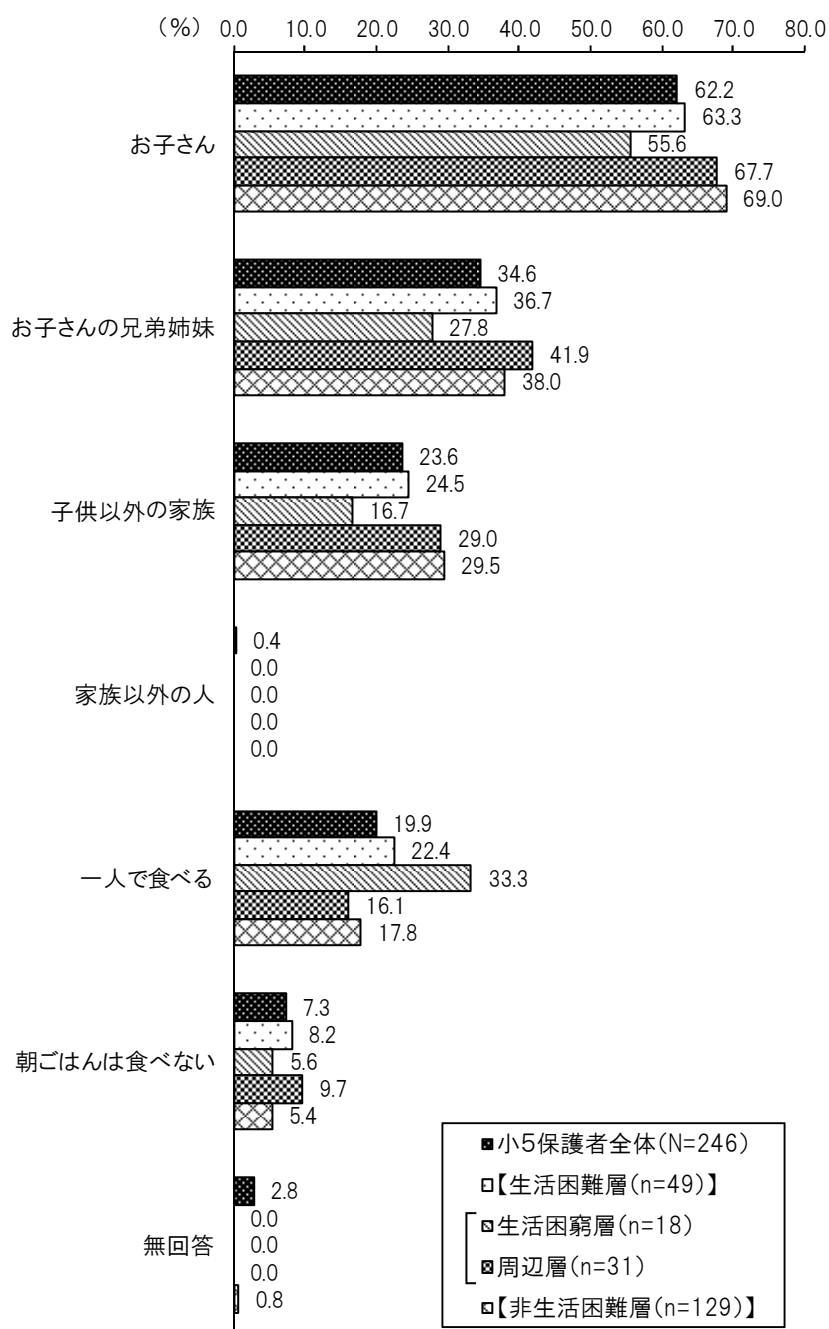
問22 平日に朝食をとる頻度	回答割合(%)	回答件数
いつも食べる(週に5日)	 69.4	34
食べるほうが多い(週に3、4日)	 10.2	5
食べないほうが多い(週に1、2日)	 10.2	5
いつも食べない	 10.2	5
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

(5) 朝食を一緒にとる人

保／問 24 あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。
(あてはまる番号すべてに○)

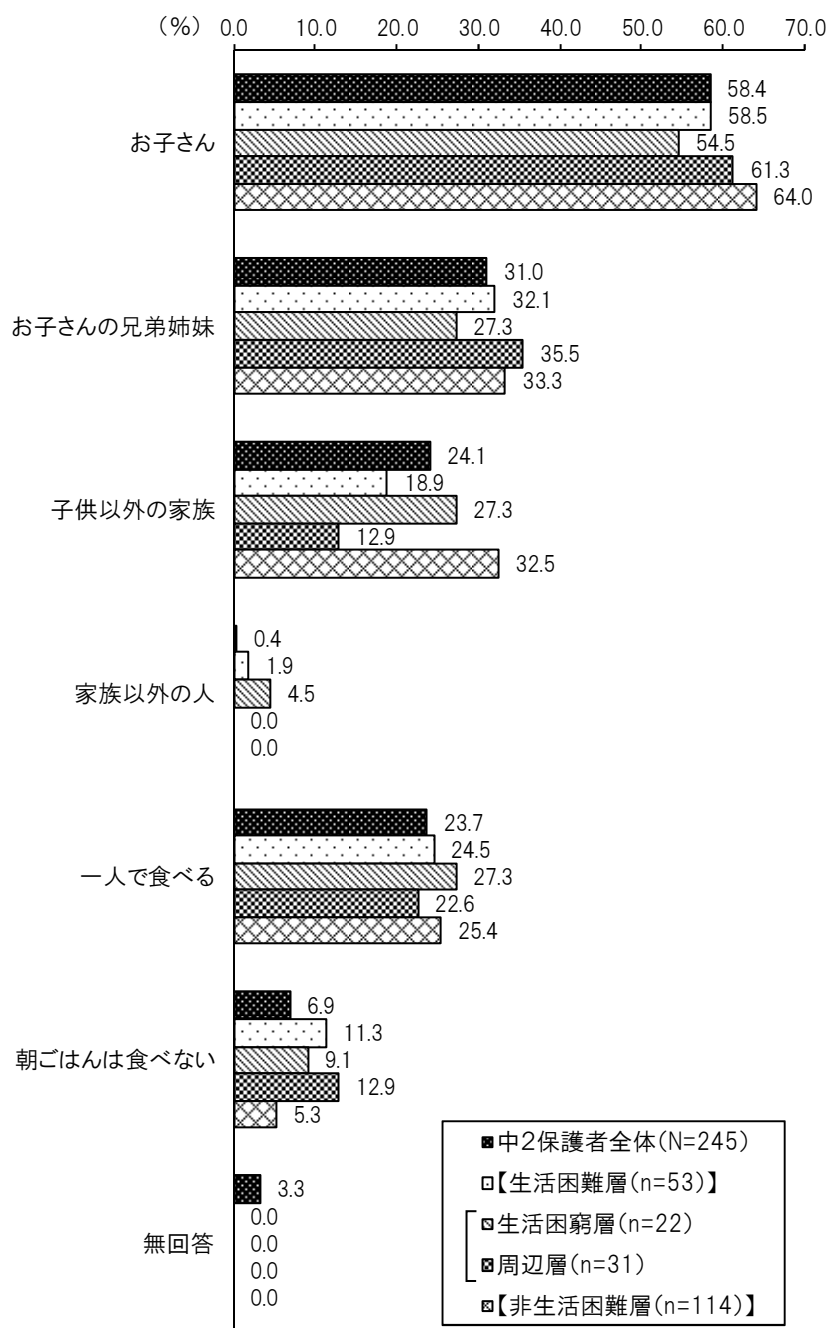
朝食を一緒にとる人について、小学5年保護者全体では「お子さん」が62.2%と最も高く、次いで「お子さんの兄弟姉妹」(34.6%)、「子供以外の家族」(23.6%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さん」「お子さんの兄弟姉妹」「子供以外の家族」などの割合が低く、「一人で食べる」の割合が高くなっている。



中学2年保護者全体では、「お子さん」が58.4%と最も高く、次いで「お子さんの兄弟姉妹」(31.0%)、「子供以外の家族」(24.1%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さん」「お子さんの兄弟姉妹」などの割合がやや低く、「子供以外の家族」などの割合が高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

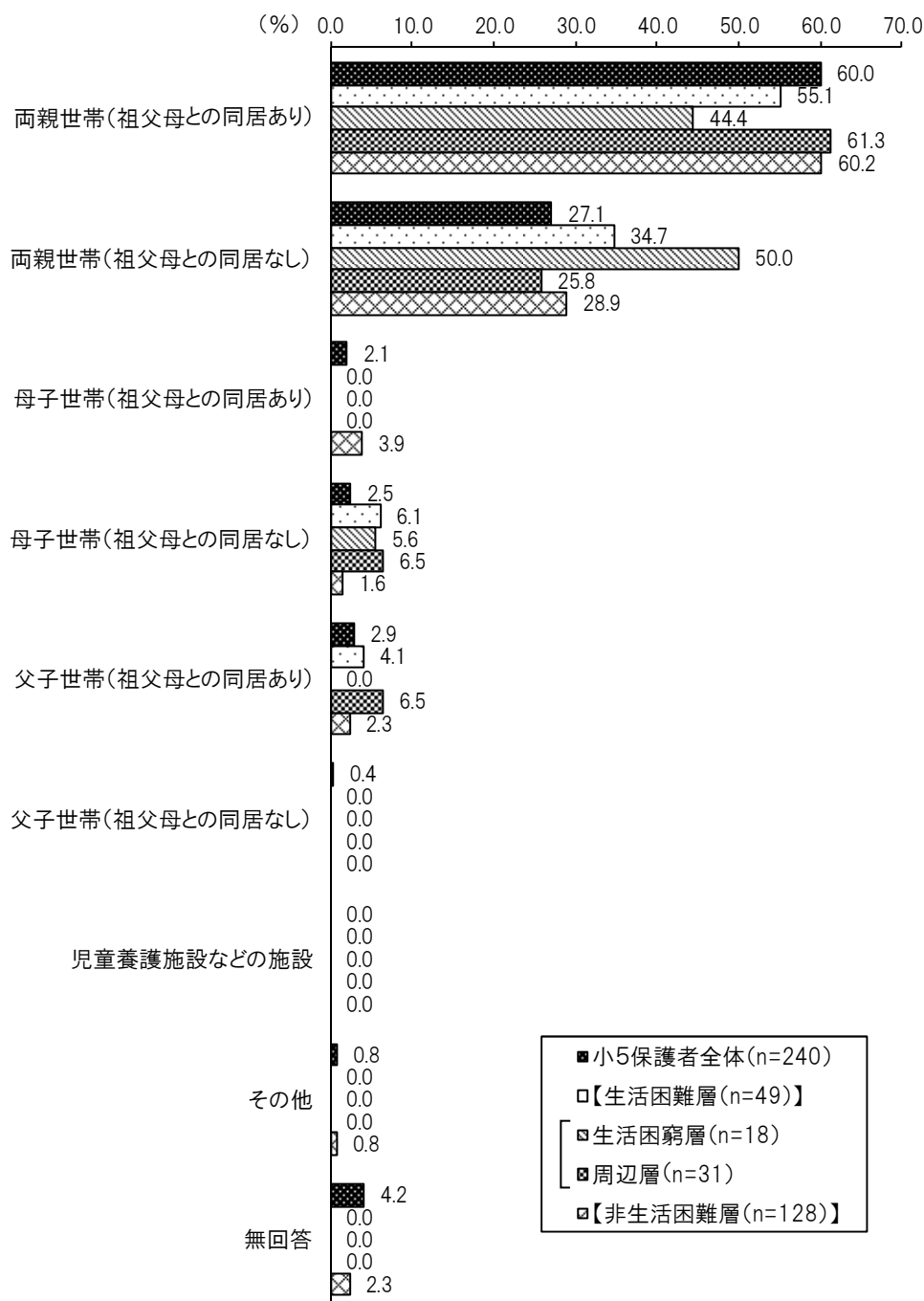
児童扶養手当受給者においては、「お子さん」が 44.9%と最も高く、次いで「一人で食べる」（34.7%）となっている。

問23 平日に一緒に朝食をとる人	回答割合(%)	回答件数
お子さん	44.9	22
子供以外の家族	12.2	6
お子さんの兄弟姉妹	6.1	3
家族以外の人	4.1	2
一人で食べる	34.7	17
朝ごはんは食べない	12.2	6
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

(6) 15 歳の頃の家族構成

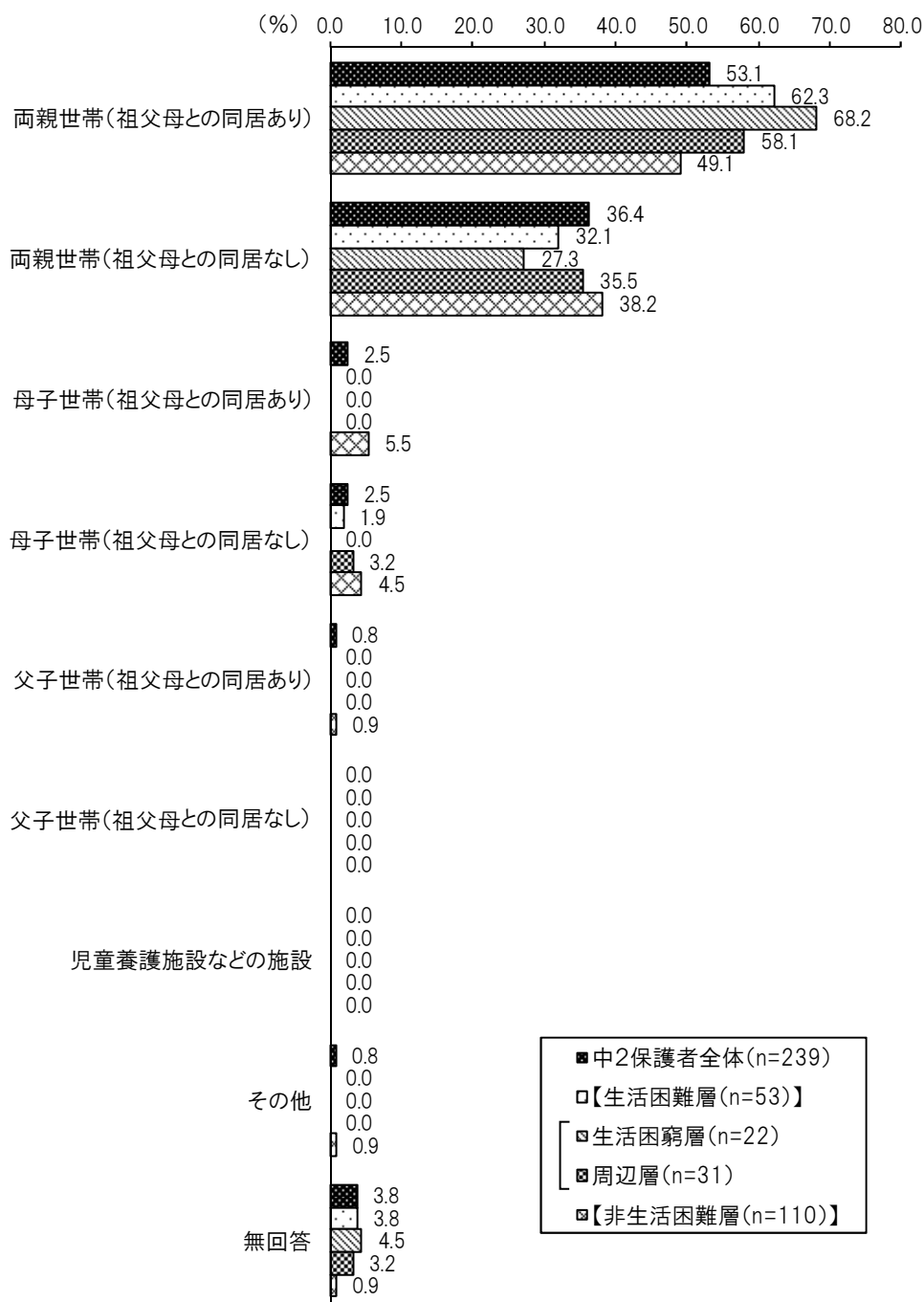
保／問 38 あなたが 15 歳頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。
(あてはまる番号 1 つに○)

15 歳の頃の家族構成について、小学 5 年保護者全体では「両親世帯（祖父母との同居あり）」が 60.0% と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居なし）」（27.1%）が続いている。生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が低く、「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が53.1%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居なし）」（36.4%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親世帯（祖父母との同居なし）」の割合が低く、「両親世帯（祖父母との同居あり）」の割合が他の層に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が 57.1%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居なし）」（22.4%）となっている。

問36 15歳の頃の家庭の様子に最も近いもの	回答割合(%)	回答件数
両親世帯(祖父母との同居あり)	 57.1	28
両親世帯(祖父母との同居なし)	 22.4	11
母子世帯(祖父母との同居あり)	 2.0	1
母子世帯(祖父母との同居なし)	 2.0	1
父子世帯(祖父母との同居あり)	 2.0	1
父子世帯(祖父母との同居なし)	 4.1	2
児童養護施設などの施設	0.0	0
その他	 4.1	2
無回答	 6.1	3
全体	100.0	49

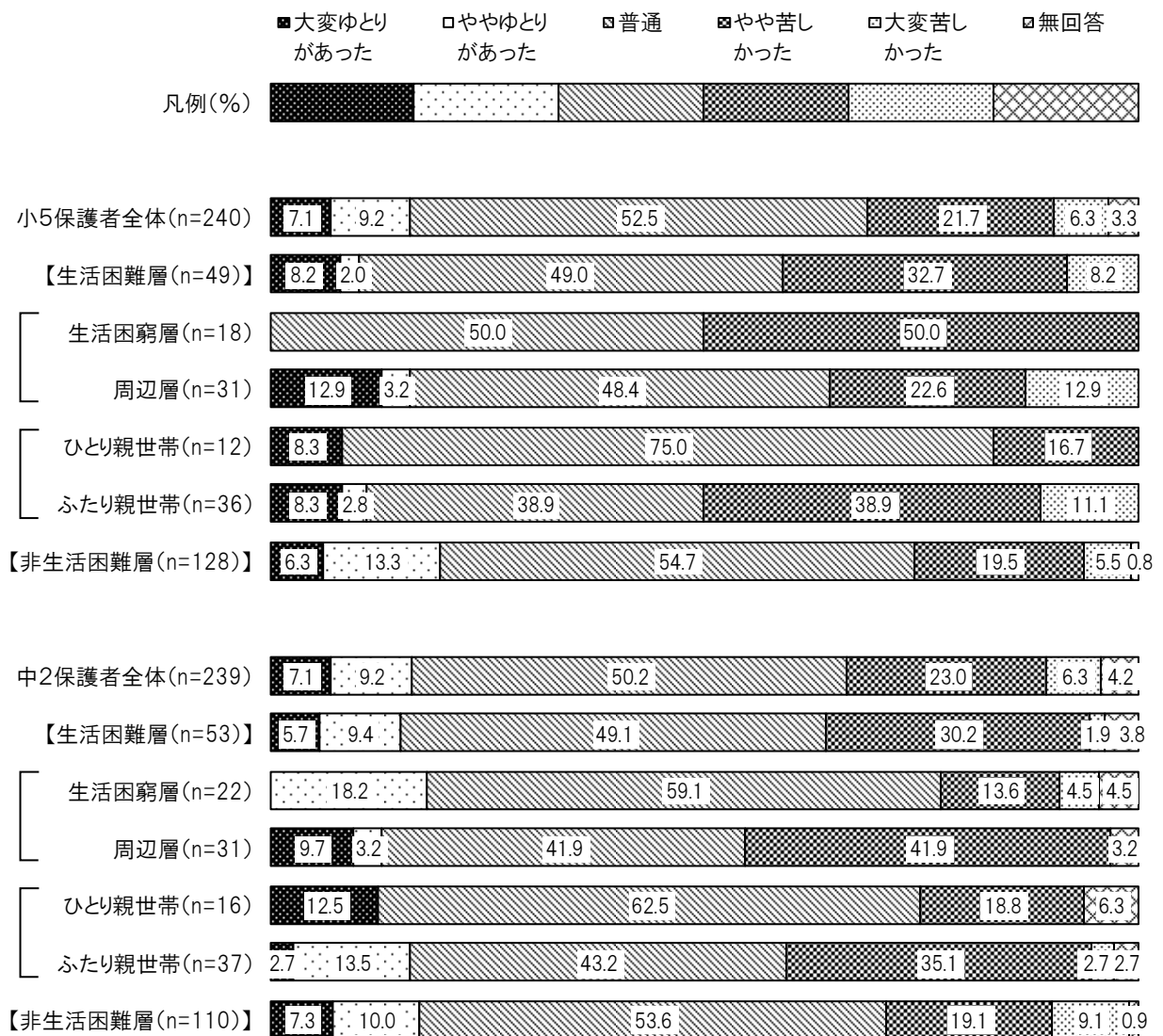
(7) 15歳の頃の(主観的)暮らし向き

保／問 39 あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

15歳の頃の(主観的)暮らし向きについては、「大変ゆとりがあった」「ややゆとりがあった」の合計は、小学5年保護者全体、中学2年保護者全体ともに16.3%となっている。一方、「やや苦しかった」「大変苦しかった」の合計は、小学5年保護者全体では28.0%、中学2年保護者全体では29.3%となっている。

生活困難度別にみた『苦しかった(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で50.0%、周辺層で35.5%、中学2年保護者の生活困窮層で18.1%、周辺層で41.9%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で『苦しかった(合計)』の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「普通」が 55.1%と最も高く、次いで「やや苦しかった」（16.3%）、「大変苦しかった」（14.3%）となっている。

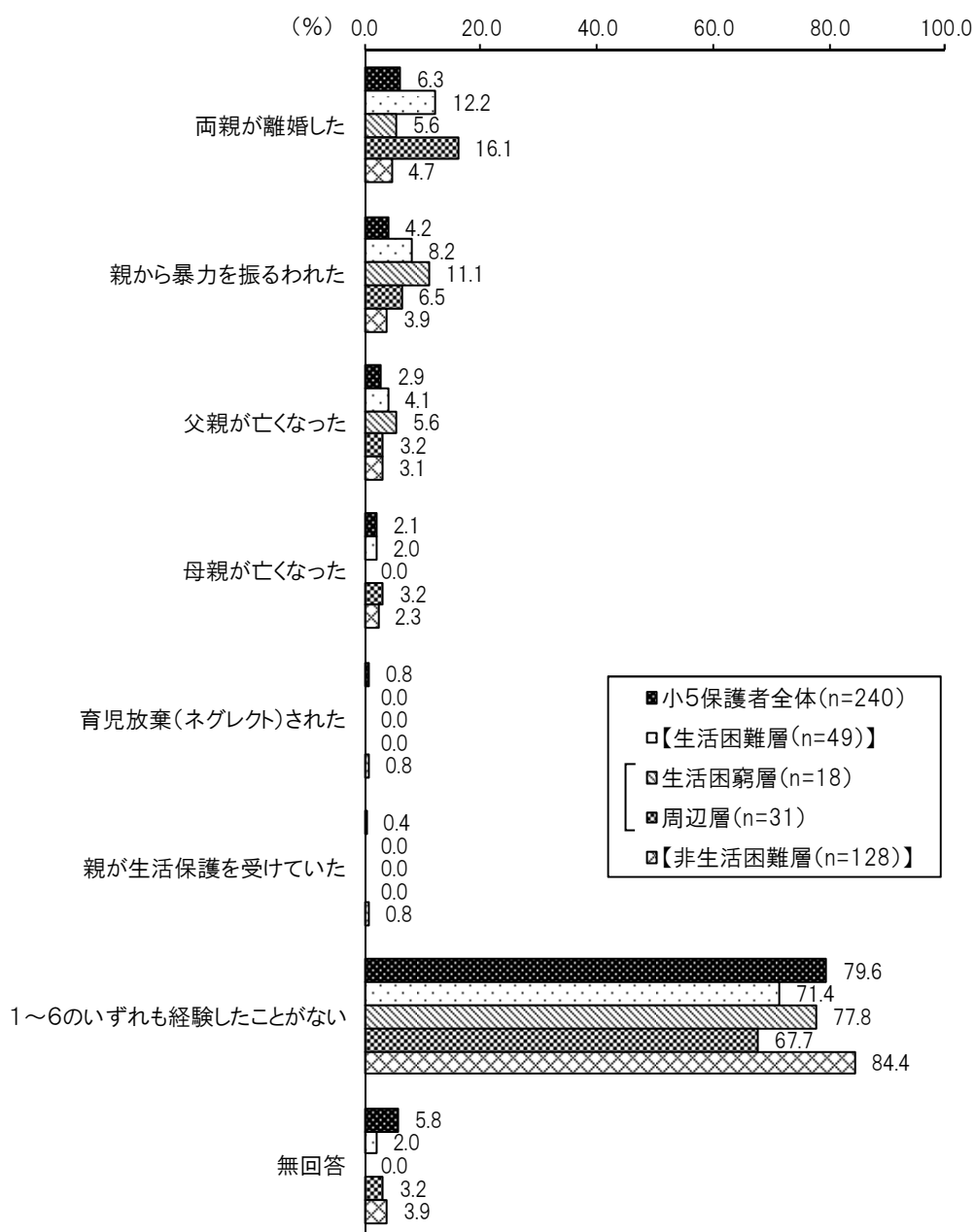
問37 15歳の頃の暮らしの状況	回答割合(%)	回答件数
大変ゆとりがあった	8.2	4
ややゆとりがあった	4.1	2
普通	55.1	27
やや苦しかった	16.3	8
大変苦しかった	14.3	7
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

(8) 成人するまでの体験

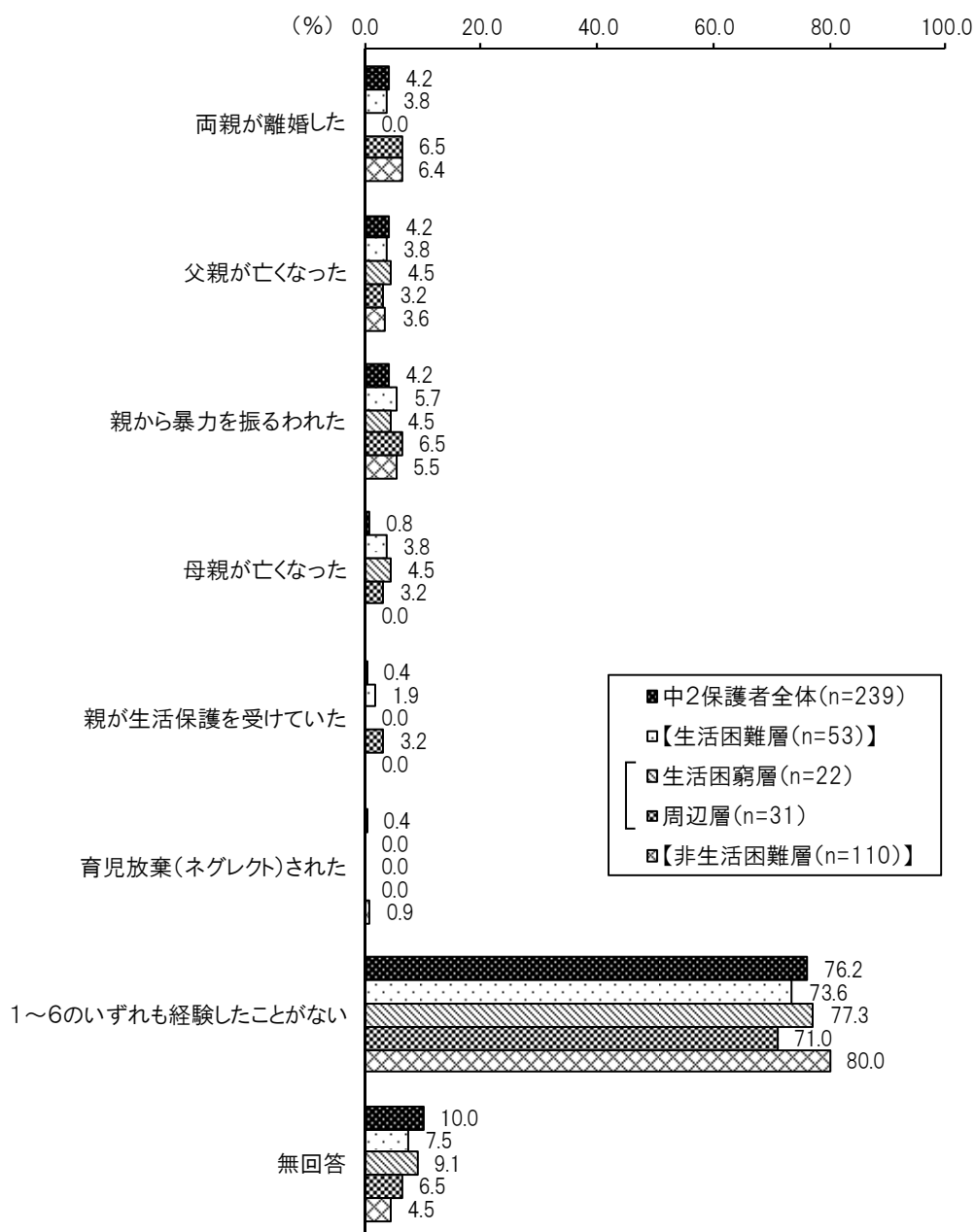
保／問 40 あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

成人するまでの体験について、小学5年保護者全体では「両親が離婚した」が6.3%と最も高く、次いで「親から暴力を振るわれた」(4.2%)、「父親が亡くなった」(2.9%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「親から暴力を振るわれた」などの割合が他の層に比べてやや高くなっている。



中学2年保護者全体では、「両親が離婚した」「父親が亡くなった」「親から暴力を振るわれた」（各4.2%）となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「親から暴力を振るわれた」が 14.3%と最も高く、次いで「両親が離婚した」（10.2%）となっている。

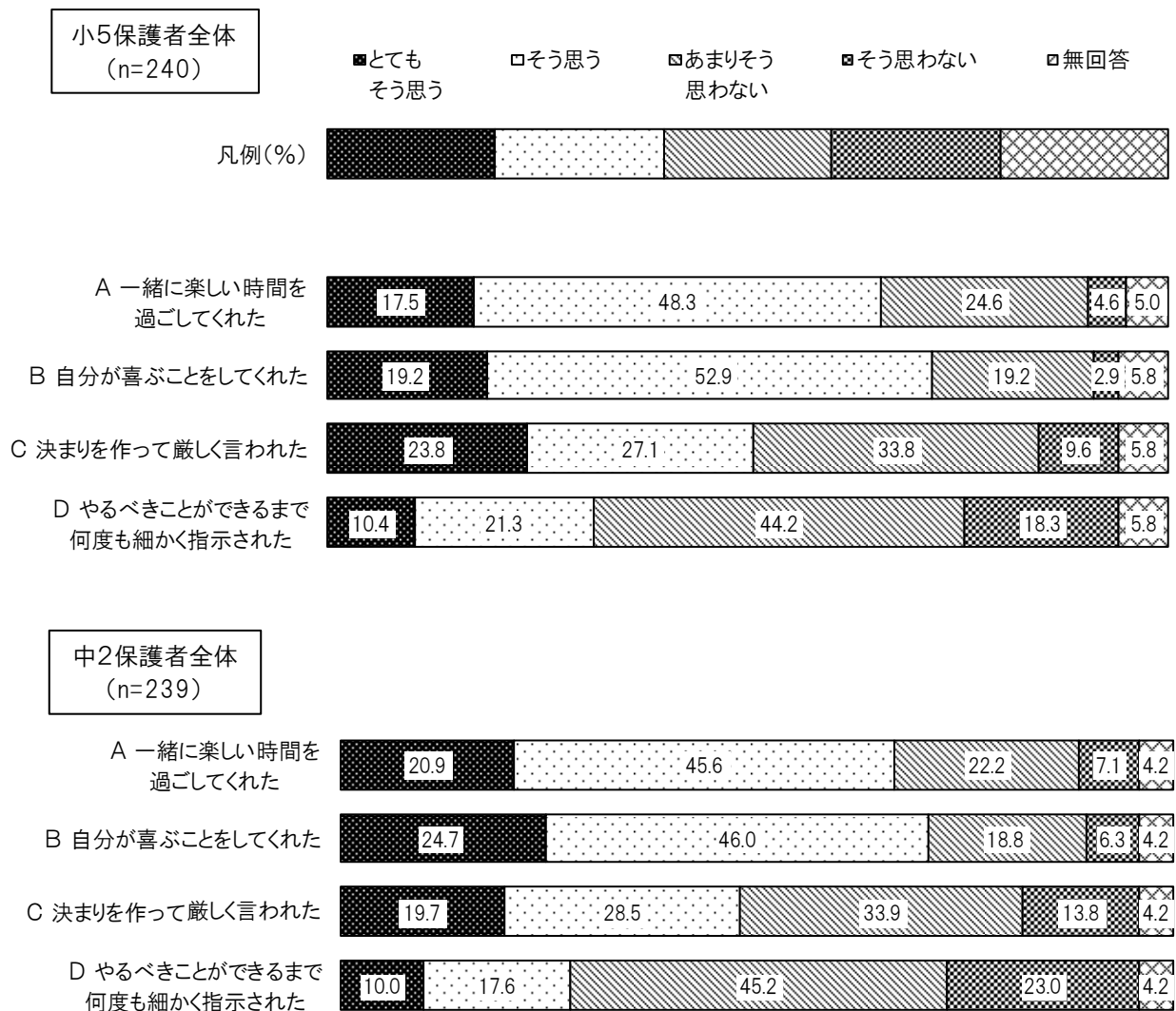
問38 成人するまでにした体験	回答割合(%)	回答件数
親から暴力を振るわれた	14.3	7
両親が離婚した	10.2	5
父親が亡くなった	4.1	2
母親が亡くなった	2.0	1
育児放棄(ネグレクト)された	2.0	1
親が生活保護を受けていた	0.0	0
1～6のいずれも経験したことがない	67.3	33
無回答	8.2	4
全体	100.0	49

(9) 子供の頃の親の接し方

保／問 42 あなたの親は子供のころのあなたに対してどのように接していましたか。
 もっとも近いと思うものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

子供の頃の親の接し方について、小学5年保護者全体では、「とてもそう思う」の割合が高い順に「C 決まりを作って厳しく言われた」(23.8%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれた」(19.2%)、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」(17.5%)となっている。

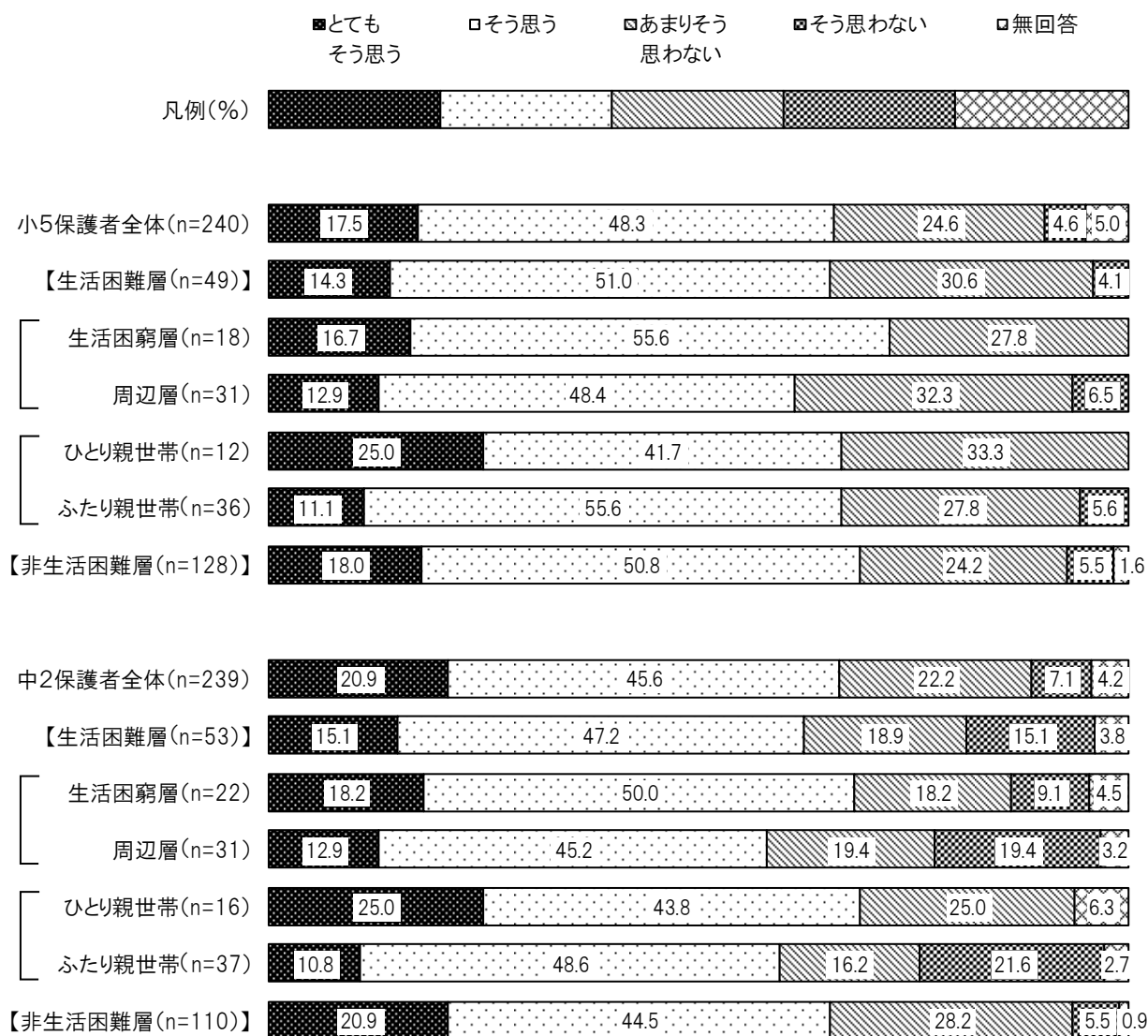
中学2年保護者全体では、「とてもそう思う」の割合が高い順に「B 自分が喜ぶことをしてくれた」(24.7%)、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」(20.9%)、「C 決まりを作って厳しく言われた」(19.7%)となっている。



A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた

一緒に楽しい時間を過ごしてくれたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、周辺層で12.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.2%、周辺層で12.9%となっている。

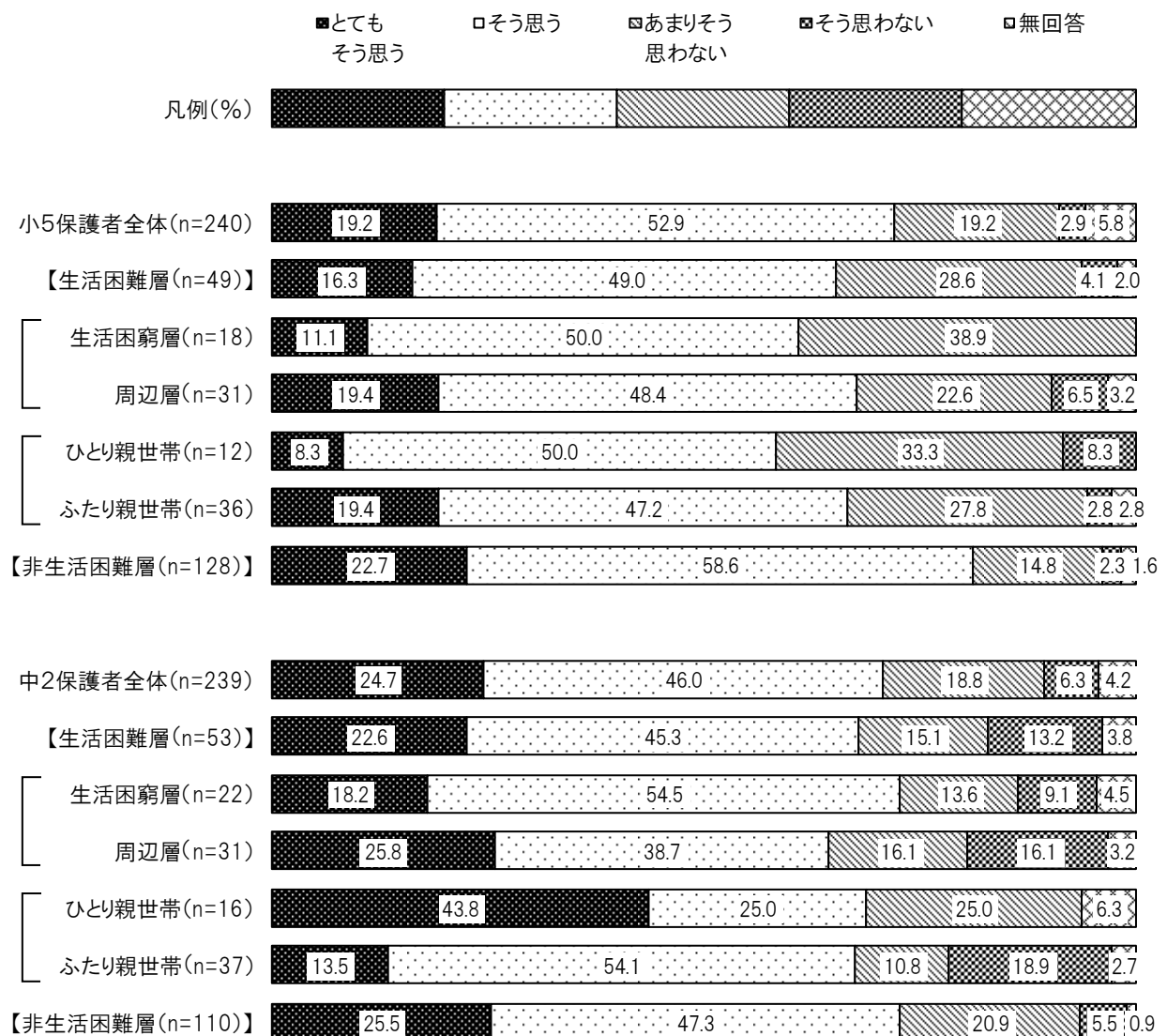
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 自分が喜ぶことをしてくれた

自分が喜ぶことをしてくれたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で 11.1%、周辺層で 19.4%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 18.2%、周辺層で 25.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

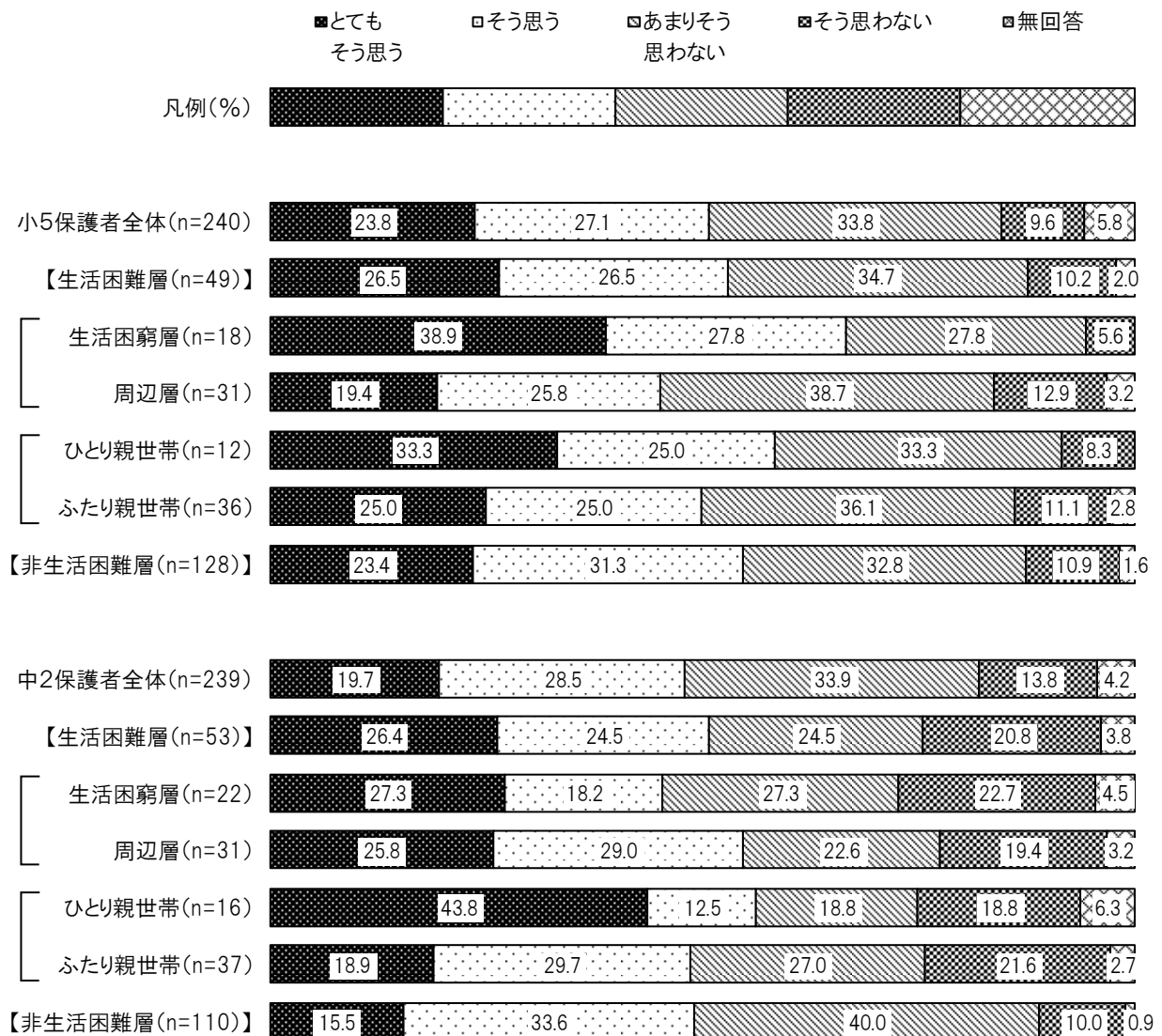
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



C 決まりを作って厳しく言われた

決まりを作って厳しく言われたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で 38.9%、周辺層で 19.4%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 27.3%、周辺層で 25.8%となっている。

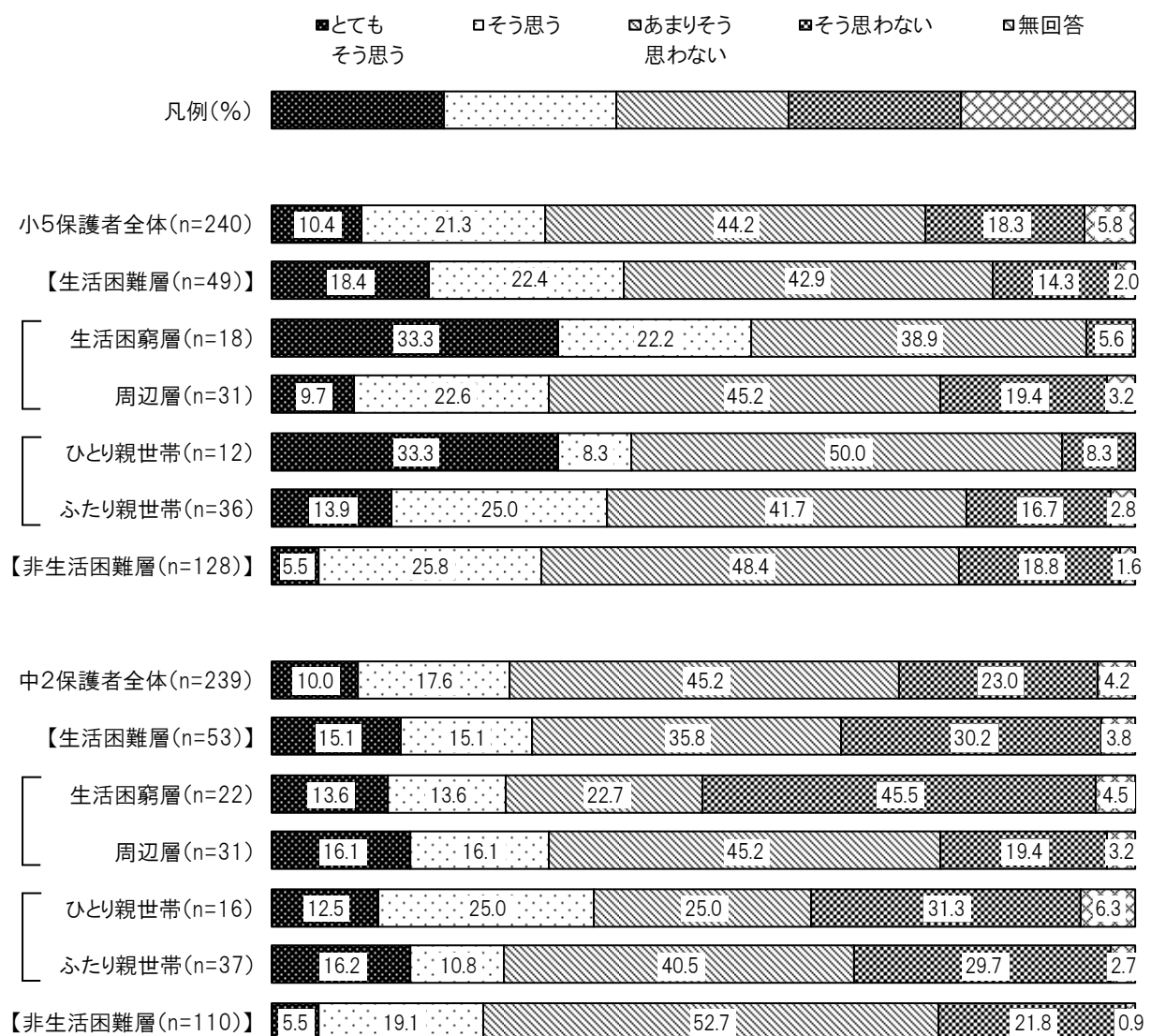
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D やるべきことができるまで何度も細かく指示された

やるべきことができるまで何度も細かく指示されたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、周辺層で9.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で13.6%、周辺層で16.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「とてもそう思う」の割合が高い順に、「C 決まりを作って厳しく言われた」「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」などとなっている。

問40 子供のころの親の接し方／A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた	回答割合(%)	回答件数
とてもそう思う	20.4	10
そう思う	24.5	12
あまりそう思わない	30.6	15
そう思わない	20.4	10
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問40 子供のころの親の接し方／B 自分が喜ぶことをしてくれた	回答割合(%)	回答件数
とてもそう思う	14.3	7
そう思う	32.7	16
あまりそう思わない	34.7	17
そう思わない	14.3	7
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

問40 子供のころの親の接し方／C 決まりを作って厳しく言われた	回答割合(%)	回答件数
とてもそう思う	24.5	12
そう思う	20.4	10
あまりそう思わない	34.7	17
そう思わない	18.4	9
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

問40 子供のころの親の接し方／D やるべきことができるまで何度も細かく指示された	回答割合(%)	回答件数
とてもそう思う	14.3	7
そう思う	18.4	9
あまりそう思わない	40.8	20
そう思わない	24.5	12
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

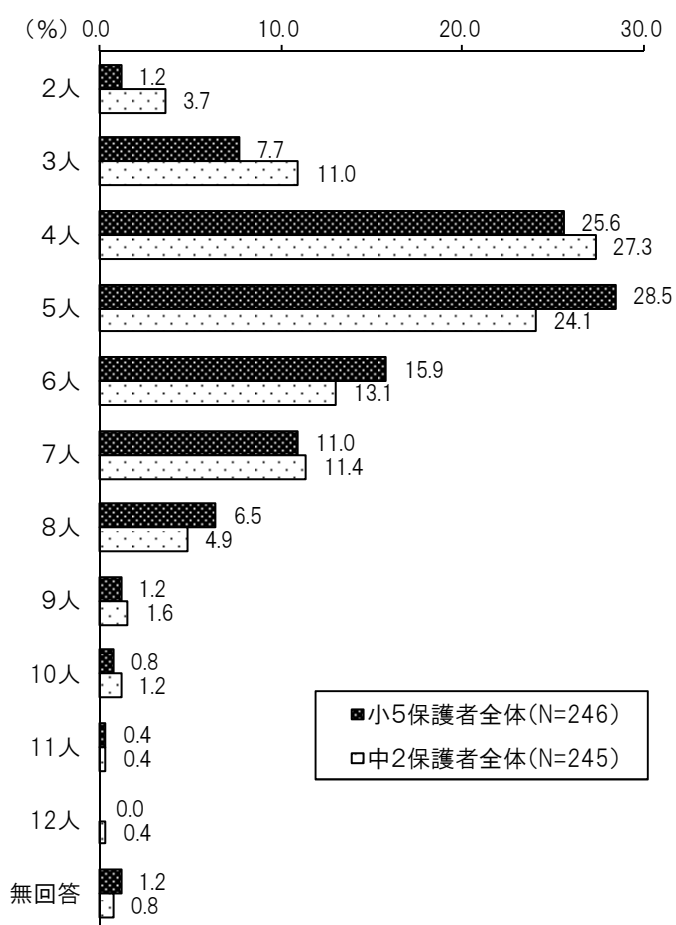
【2】家族

(1) 人数

保／問6 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。（枠内に数字で回答してください）

※単身赴任しているご家族も含めてください。

人数については、小学5年保護者では「5人」が28.5%と最も高く、次いで「4人」(25.6%)、「6人」(15.9%)となっている。中学2年保護者では「4人」が27.3%と最も高く、次いで「5人」(24.1%)、「6人」(13.1%)となっている。



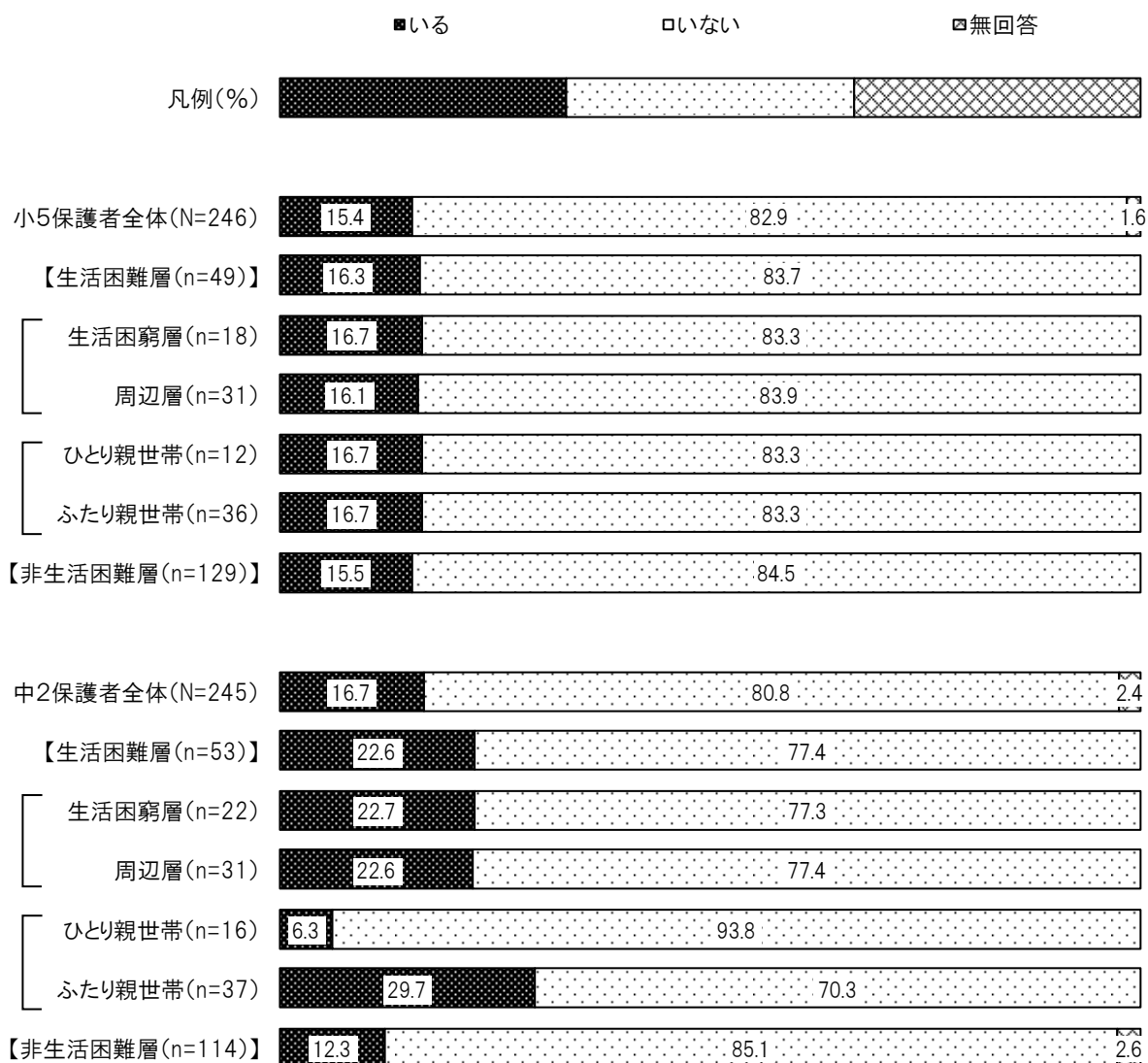
(2) 高齢・障害の同居家族の有無

保／問8 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、介護が必要な方はいますか。（あてはまる番号1つに○）

高齢・障害の同居家族の有無について、小学5年保護者全体では「いる」が15.4%、中学2年保護者全体では16.7%となっている。一方、「いない」は小学5年保護者全体では82.9%、中学2年保護者全体では80.8%となっている。

生活困難度別にみた「いる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、中学2年保護者で22.7%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「いる」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「いる」が約２割、「いない」が約８割となっている。

問6 介護が必要な同居家族の有無	回答割合(%)	回答件数
いる	 20.4	10
いない	 79.6	39
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

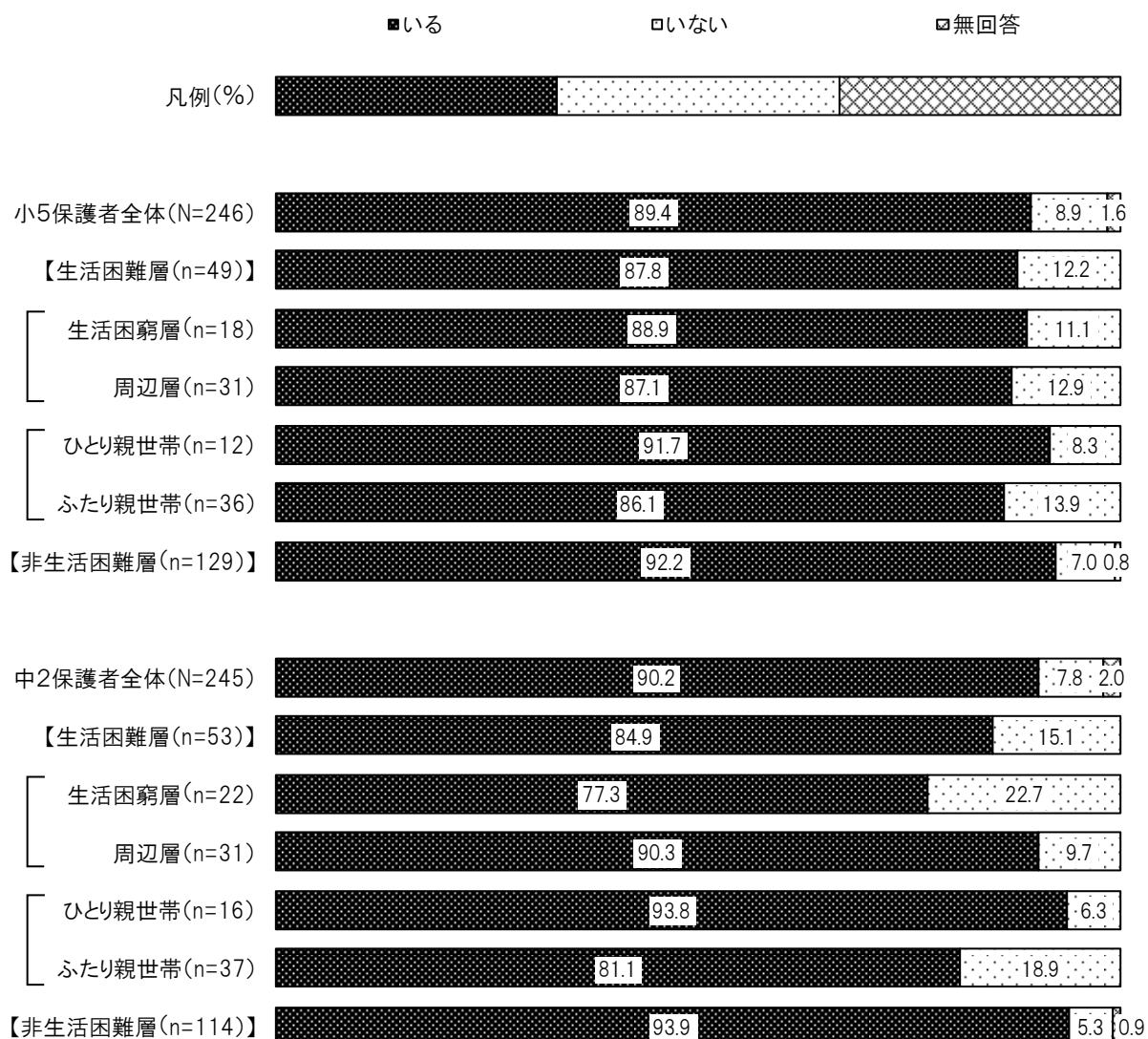
(3) 頼れる親族・友人の有無

保／問9 お子さんが病気の時や、ご自身の用事するときなどに頼れる親族や友人などがいますか。(あてはまる番号1つに○)

頼れる親族・友人の有無について、小学5年保護者全体では「いる」が89.4%、中学2年保護者全体では90.2%となっている。一方、「いない」は小学5年保護者全体では8.9%、中学2年保護者全体では7.8%となっている。

生活困難度別にみた「いる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で88.9%、中学2年保護者で77.3%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「いない」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「いる」が約 7 割、「いない」が約 3 割となっている。

問8 子供の病気や用事などのときに頼れる親族や友人の有無	回答割合(%)	回答件数
いる	71.4	35
いない	28.6	14
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

(4) 転居経験

保／問 34 あなたの家庭では、過去5年の間に、何回転居しましたか。
(あてはまる番号1つに○)

転居経験について、小学5年保護者全体では「0回（過去5年間で転居はしていない）」が71.5%、「1回」が18.7%となっている。中学2年保護者全体では「0回（過去5年間で転居はしていない）」が81.2%、「1回」が11.0%となっている。

生活困難度別にみた「0回（過去5年間で転居はしていない）」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で50.0%、中学2年保護者で72.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



※0回(過去5年間で転居はしていない)

【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「0回（過去5年間で転居はしていない）」が53.1%と最も高く、次いで「1回」（22.4%）、「2回」（20.4%）となっている。

問33 過去5年間の転居回数	回答割合(%)	回答件数
0回(過去5年間で転居はしていない)	 53.1	26
1回	 22.4	11
2回	 20.4	10
3回以上	0.0	0
無回答	 4.1	2
全体	100.0	49

児童扶養手当受給者の住居形態については、「持家（あなた又は同居家族名義）」が44.9%と最も高く、次いで「市営・県営住宅」（28.6%）、「借家（マンション・アパートなど）」（16.3%）となっている。

問7 住居形態	回答割合(%)	回答件数
持家(あなた又は同居家族名義)	 44.9	22
市営・県営住宅	 28.6	14
借家(マンション・アパートなど)	 16.3	8
持家(親族名義)	 8.2	4
社宅	 2.0	1
間借	0.0	0
その他	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

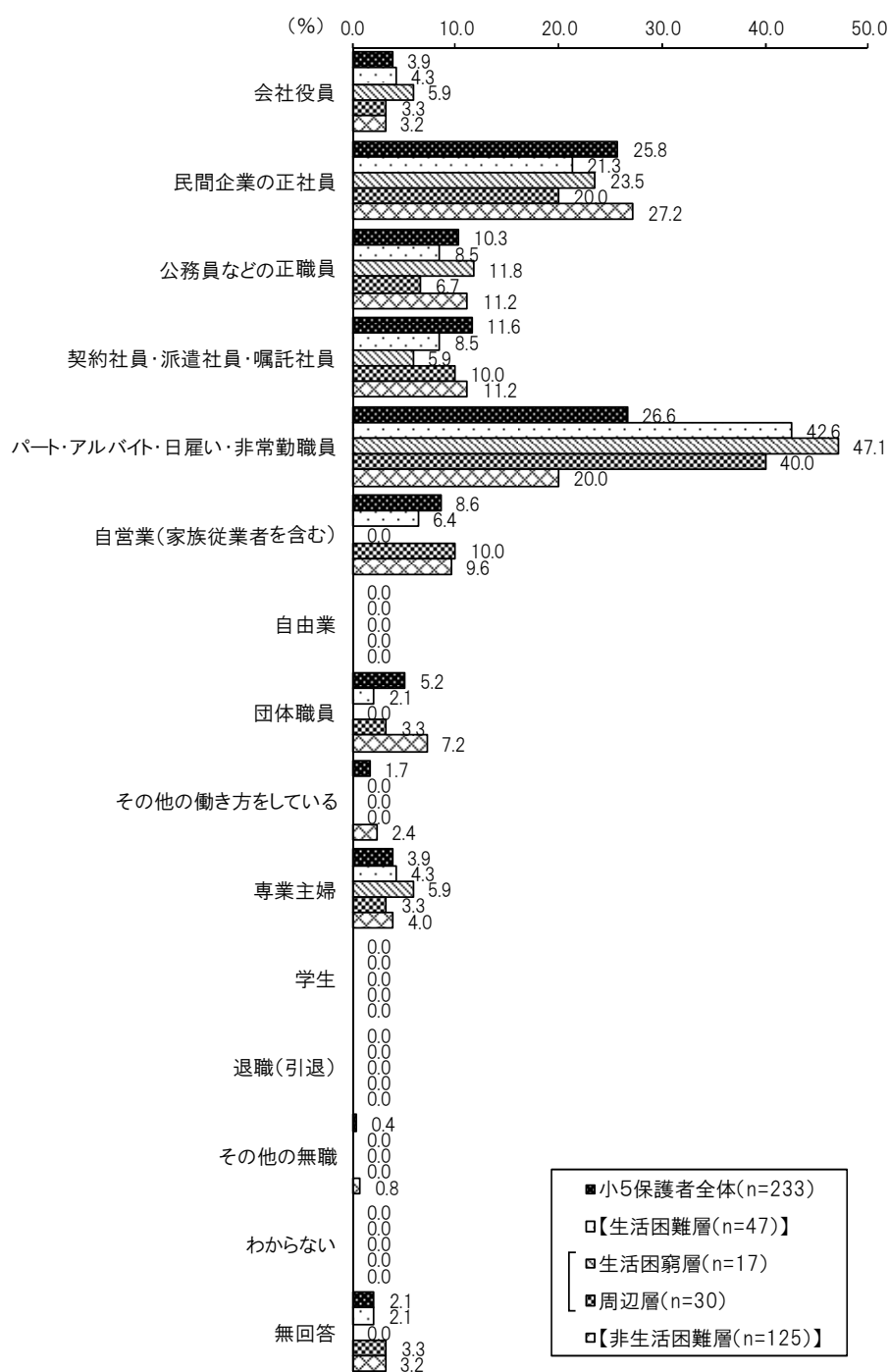
【3】母親のこと

(1) 職業

保／問 10 お子さんのお母さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。
(あてはまる番号1つに○)

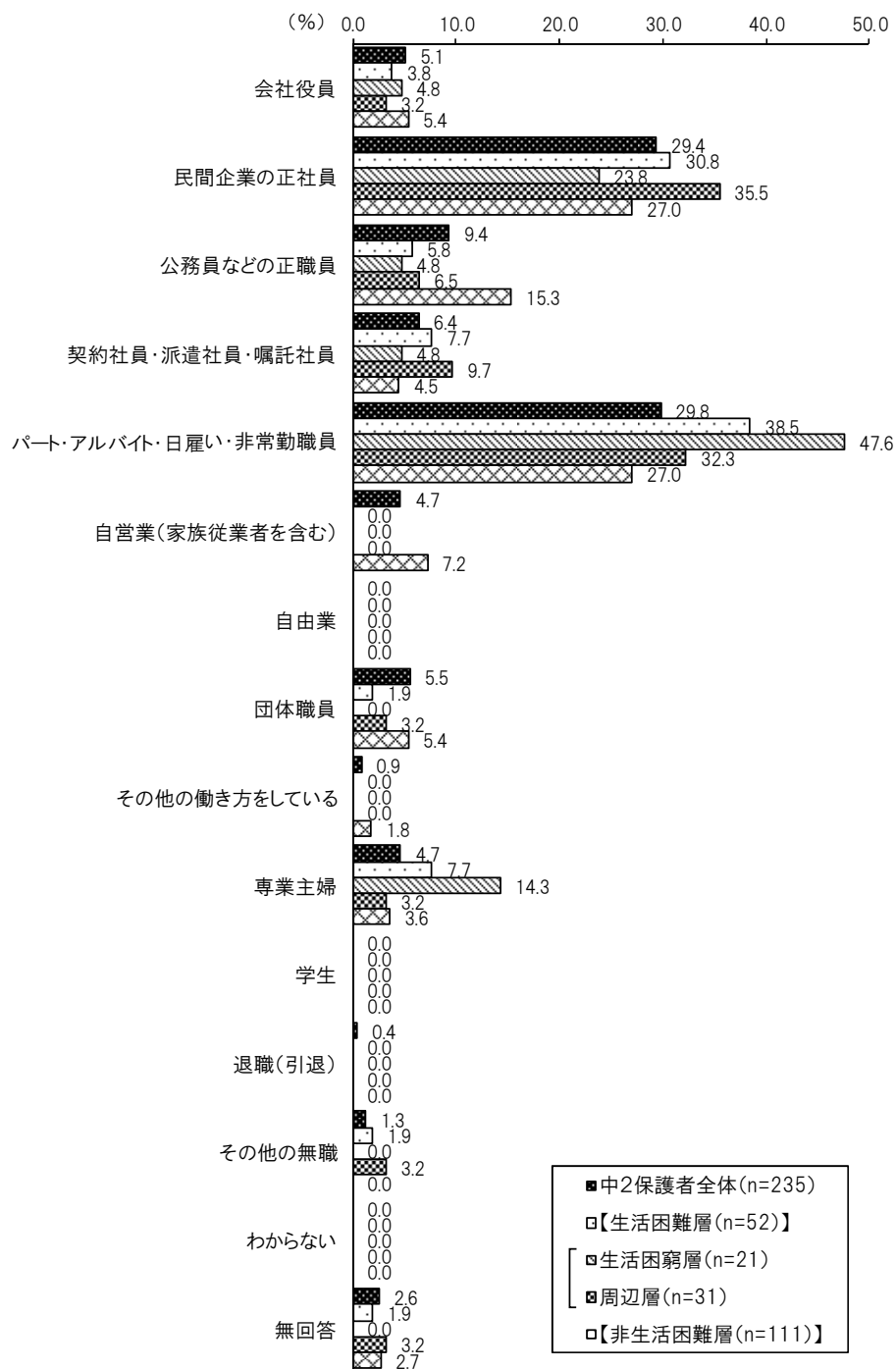
職業について、小学5年保護者全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が26.6%と最も高く、ほぼ並んで「民間企業の正社員」(25.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が29.8%と最も高く、ほぼ並んで「民間企業の正社員」(29.4%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「民間企業の正社員」などの割合が低く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「専業主婦」の割合が高くなっている。



(2) 就労時間

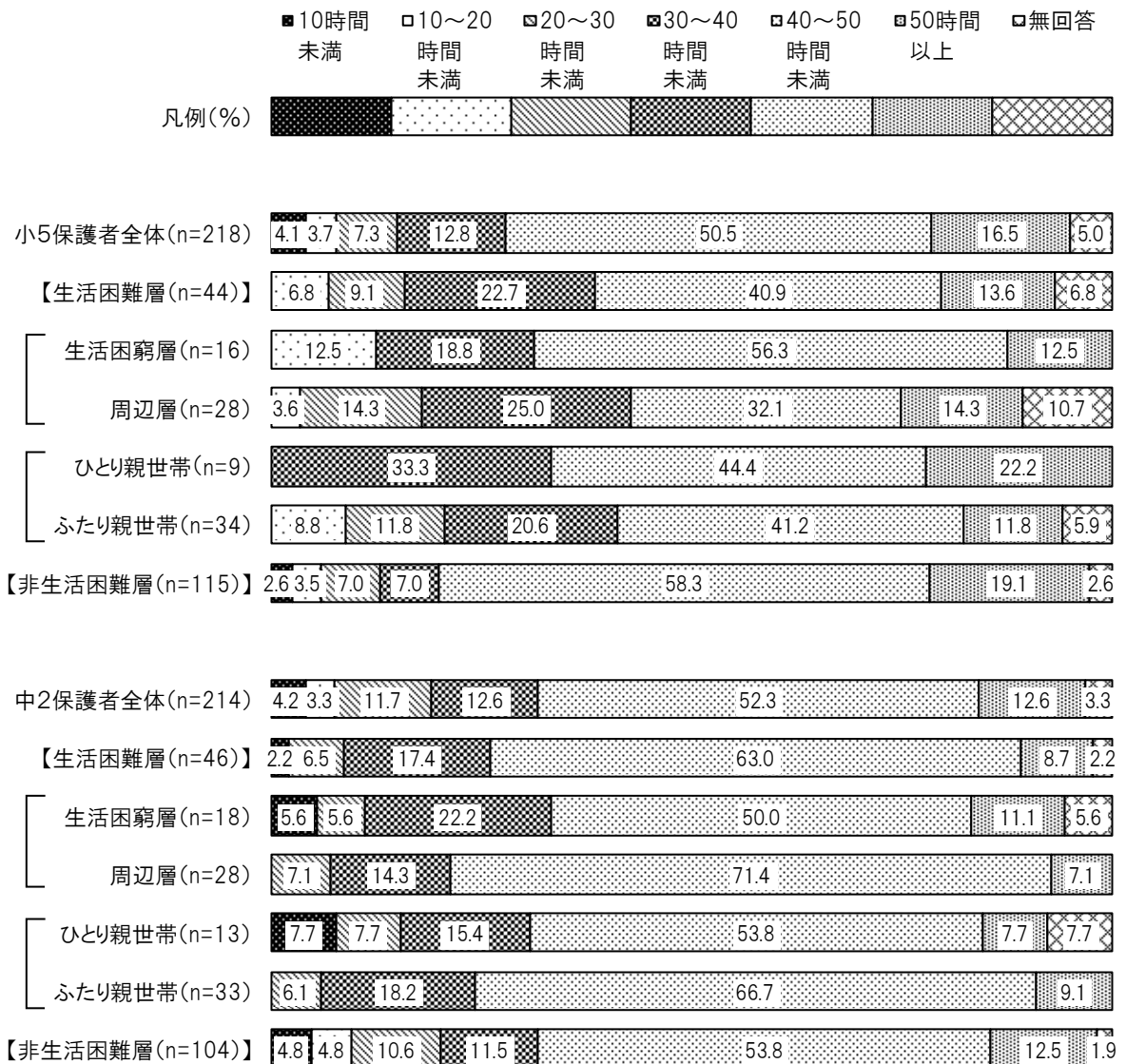
【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 10-1 お子さんのお母さまは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください。

就労時間について、小学5年保護者全体では「40～50 時間未満」が 50.5%と最も高く、次いで「50 時間以上」(16.5%)、「30～40 時間未満」(12.8%)となっている。中学2年保護者全体では「40～50 時間未満」が 52.3%と最も高く、次いで「50 時間以上」「30～40 時間未満」(各 12.6%)となっている。

生活困難度別にみた「40～50 時間未満」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で 56.3%、中学2年保護者で 50.0%となっている。



注：小学5年保護者のひとり親世帯については、件数(n)が少ないため参考値として参照

(3) 税込収入

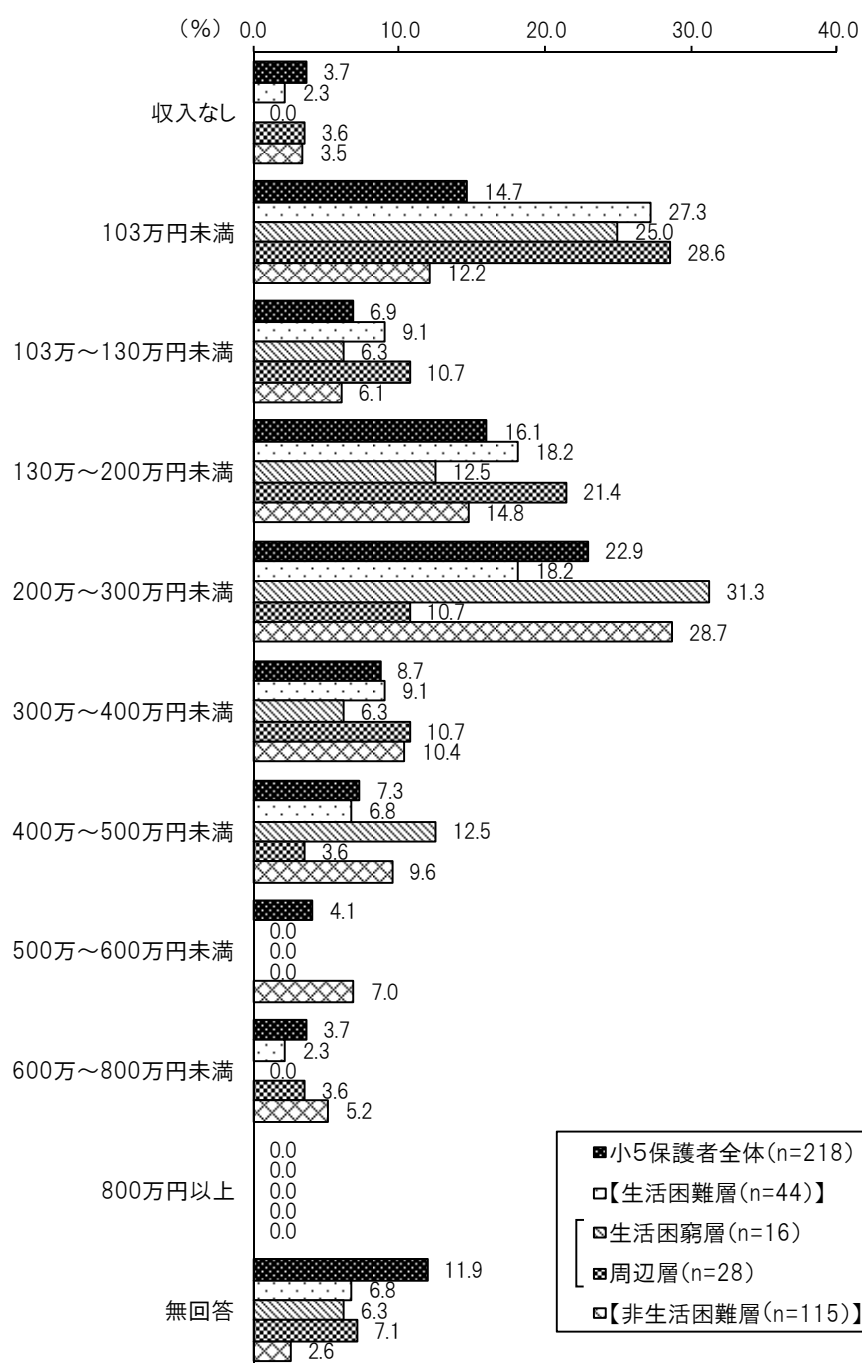
【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 10-2 昨年1年間（平成 28 年1月～12 月）を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。
（枠内に数字で回答してください）

※収入がない場合には、0 をご記入ください。

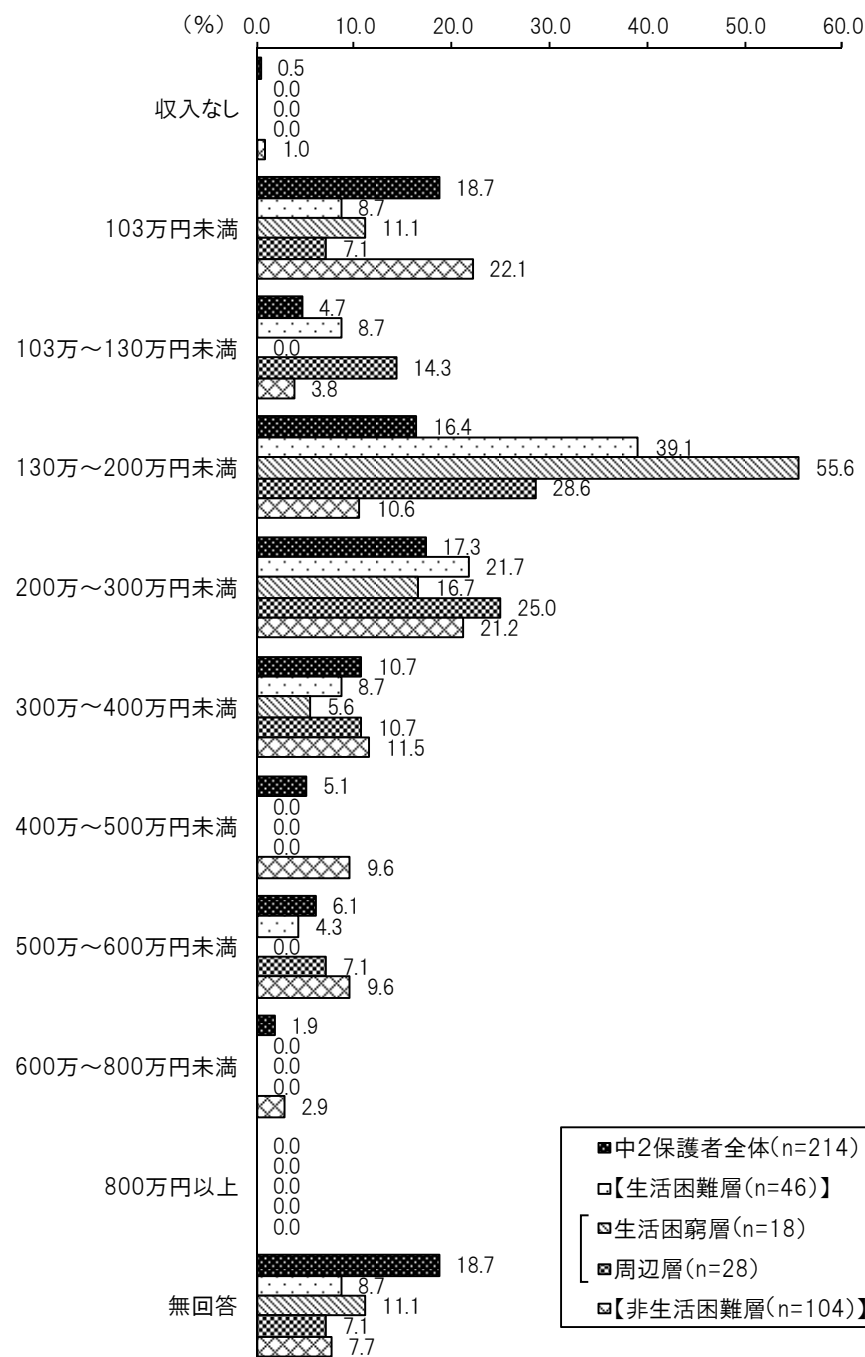
税込収入について、小学5年保護者全体では「200 万～300 万円未満」が 22.9%と最も高く、次いで「130 万～200 万円未満」（16.1%）、「103 万円未満」（14.7%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「200 万～300 万円未満」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「103万円未満」が18.7%と最も高く、次いで「200万円～300万円未満」(17.3%)、「130万円～200万円未満」(16.4%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「130万円～200万円未満」の割合が他の層を大きく上回っている。



(4) 平日日中以外の勤務状況

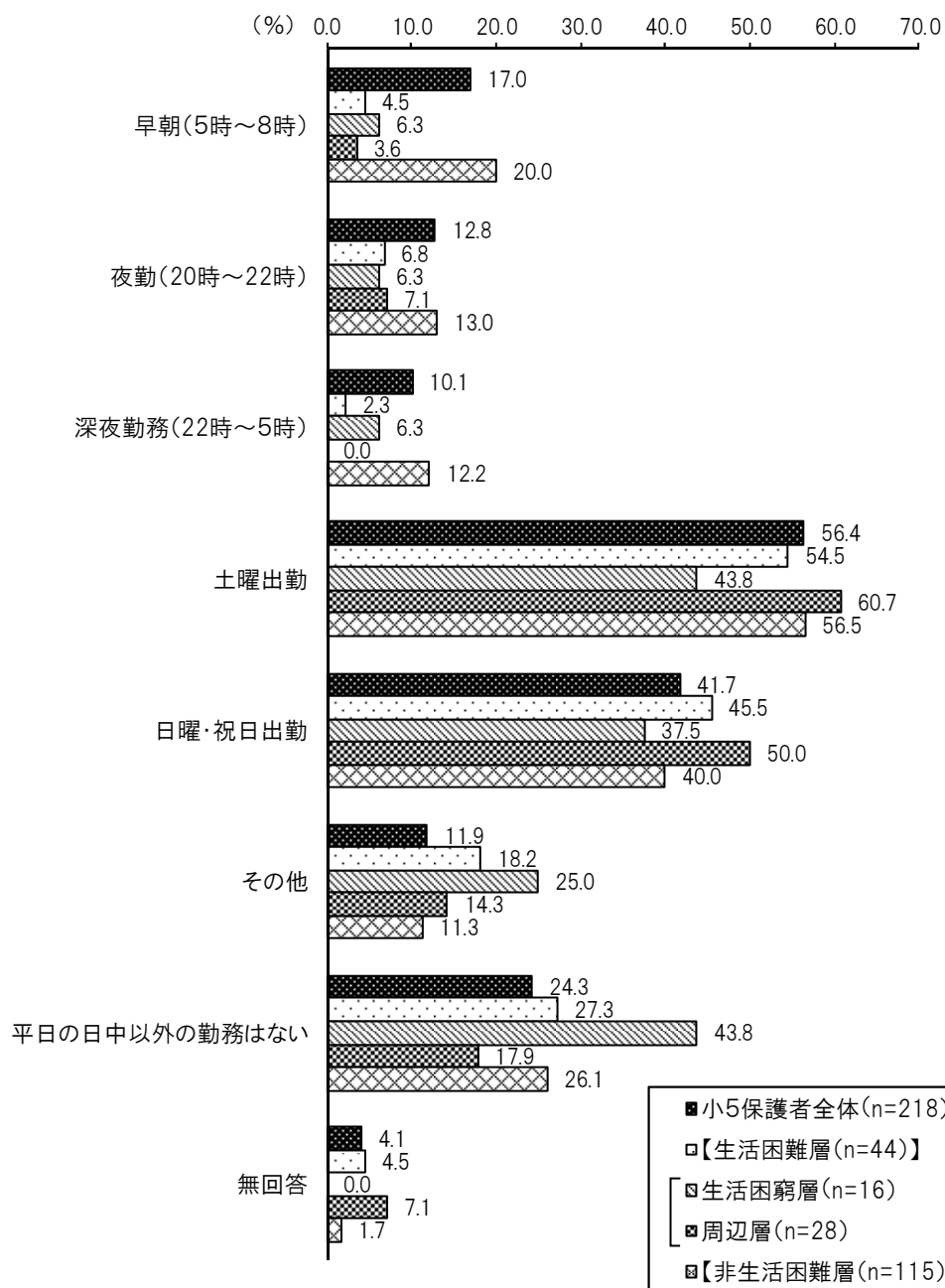
【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 10-3 お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

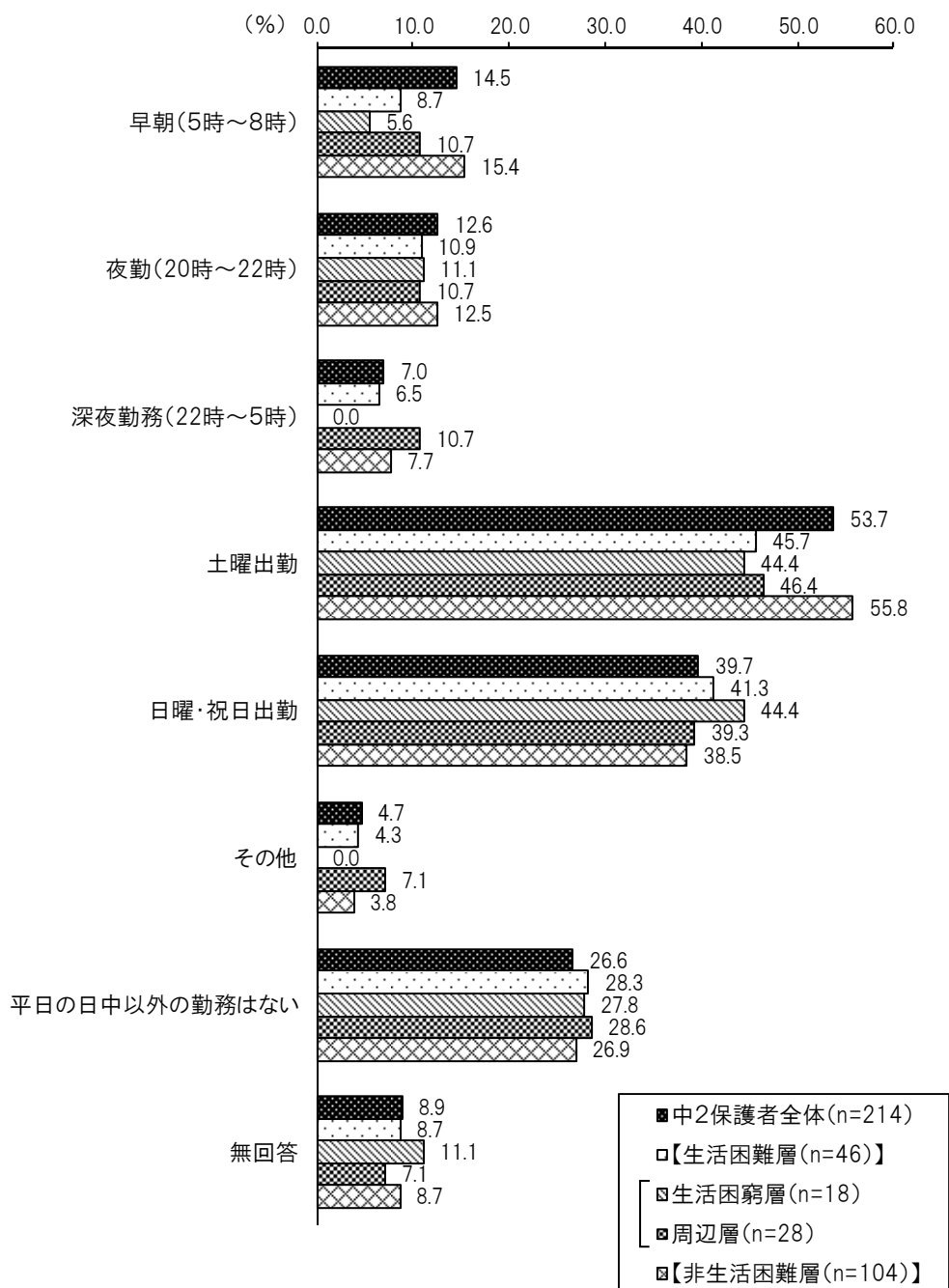
平日日中以外の勤務状況について、小学5年保護者全体では「土曜出勤」が56.4%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(41.7%)、「平日の日中以外の勤務はない」(24.3%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」などの割合が低く、「平日の日中以外の勤務はない」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「土曜出勤」が53.7%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(39.7%)、「平日の日中以外の勤務はない」(26.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「日曜・祝日出勤」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

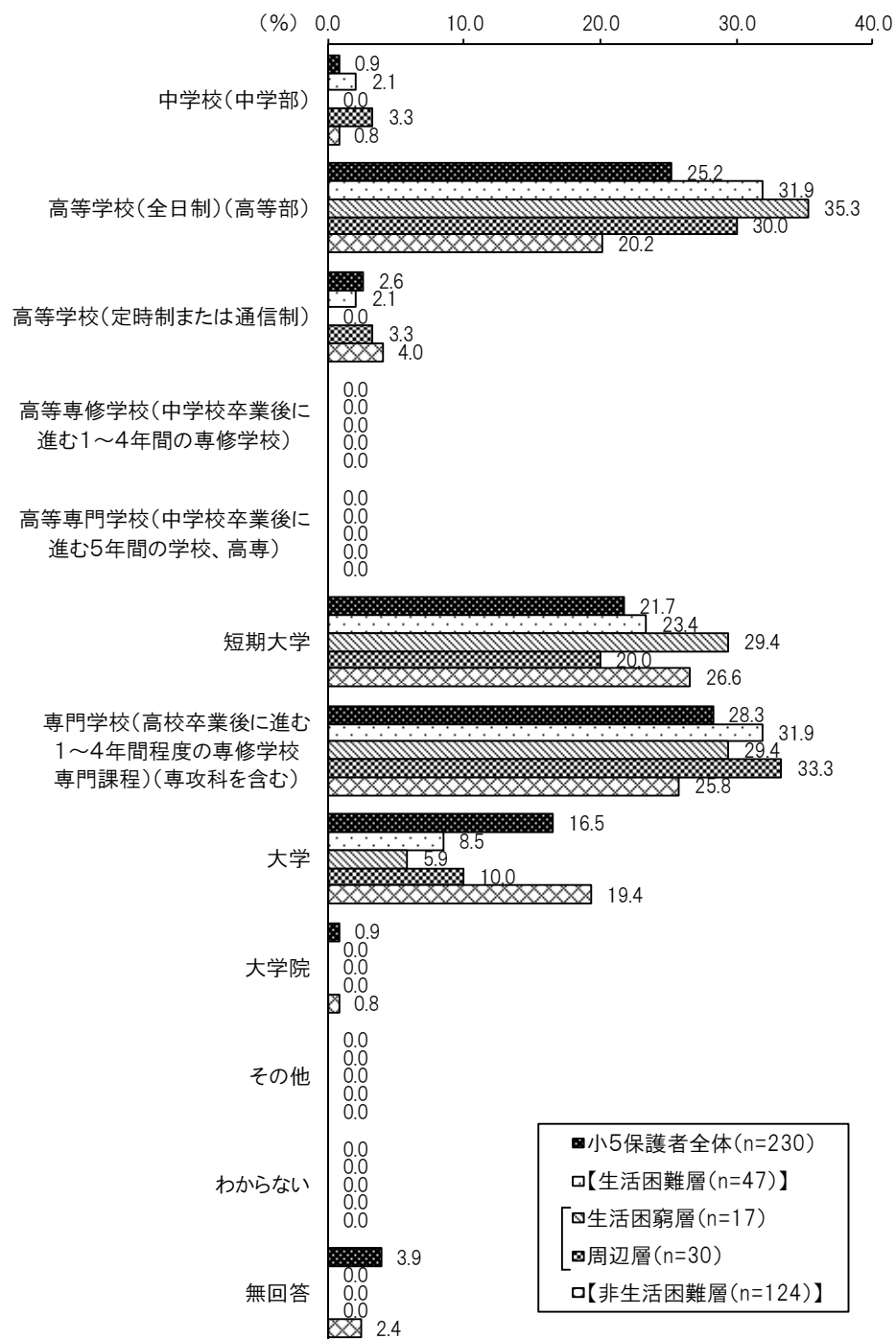


(5) 最終学歴

保／問 36 お子さんのお母さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

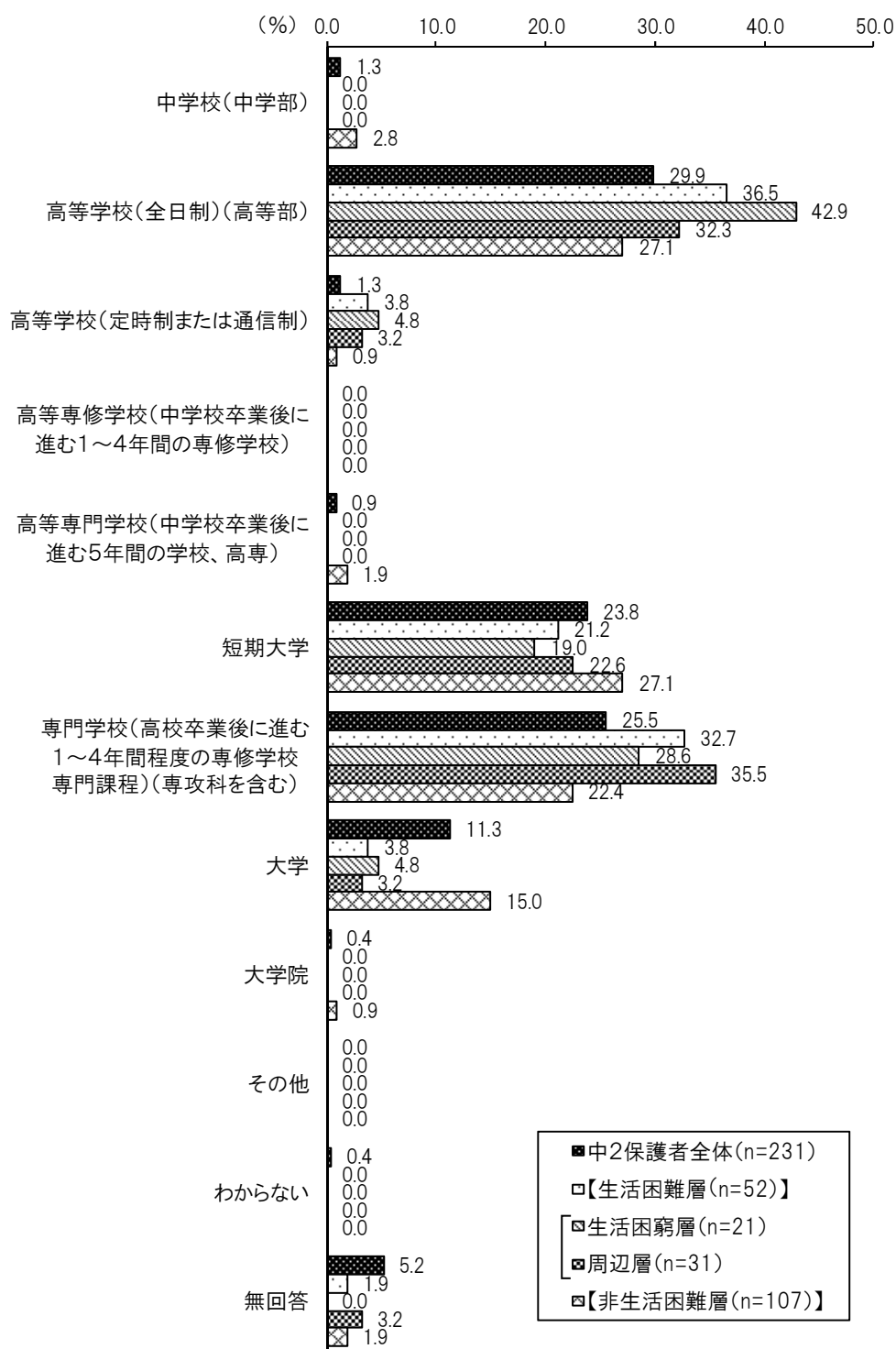
最終学歴について、小学5年保護者全体では「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」が28.3%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）（高等部）」（25.2%）、「短期大学」（21.7%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「大学」などの割合が低く、「高等学校（全日制）（高等部）」「短期大学」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「高等学校（全日制）（高等部）」が29.9%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（25.5%）、「短期大学」（23.8%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「短期大学」などの割合が低く、「高等学校（全日制）（高等部）」の割合が他の層を大きく上回っている。



(6) 最終学校の卒業の有無

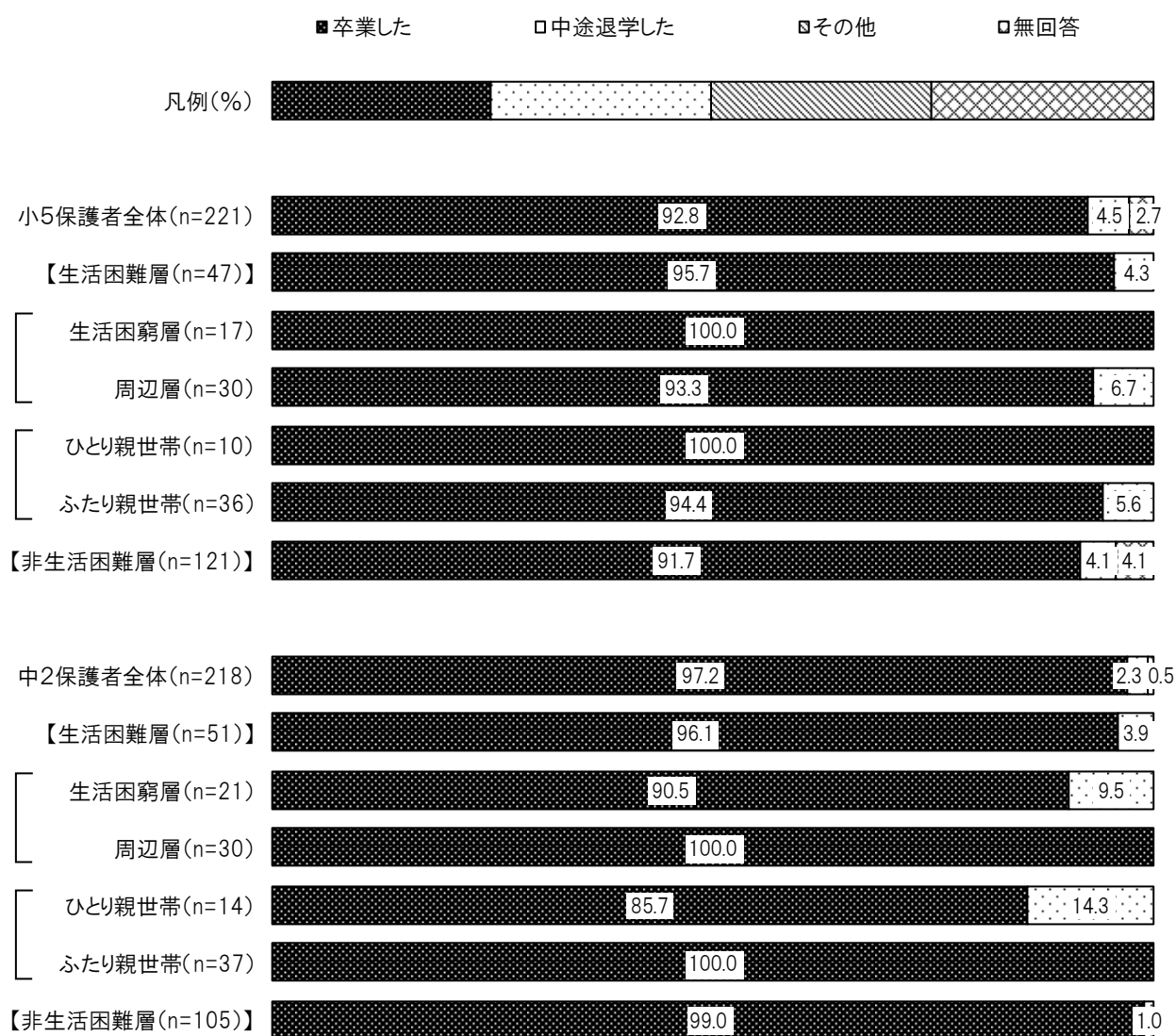
【問 36 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 36-1 お子さんのお母さまは、問 36 で答えた学校を卒業されましたか。

(あてはまる番号1つに○)

最終学校の卒業の有無については、小学5年保護者全体では「卒業した」の割合が92.8%、中学2年保護者全体では97.2%となっている。一方、「中途退学した」の割合は、小学5年保護者全体では4.5%、中学2年保護者全体では2.3%となっている。

生活困難度別にみた「中途退学した」の割合は、小学5年保護者の周辺層で6.7%、中学2年保護者の生活困窮層で9.5%となっている。



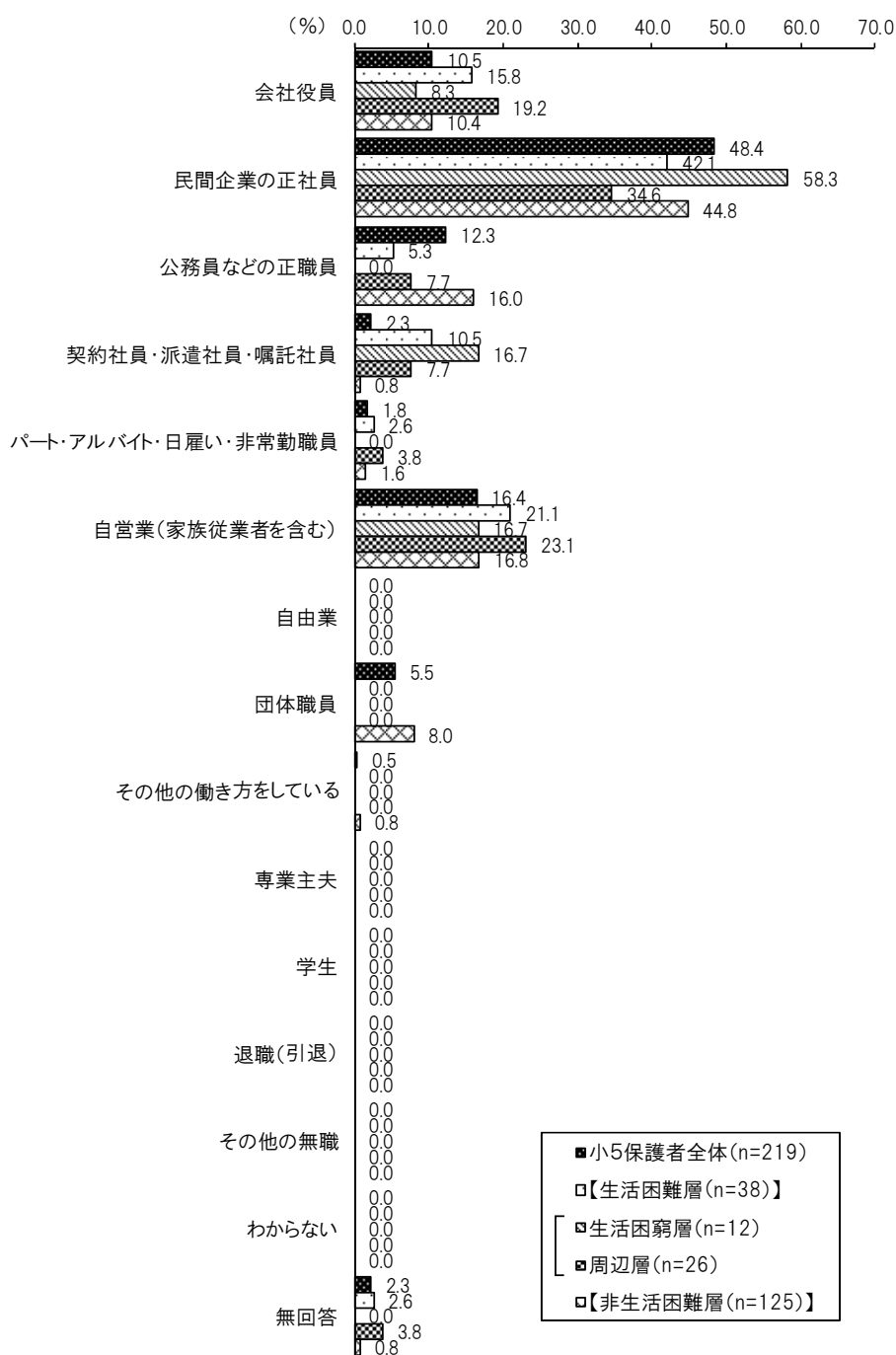
【4】父親のこと

(1) 職業

保／問 11 お子さんのお父さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。
(あてはまる番号1つに○)

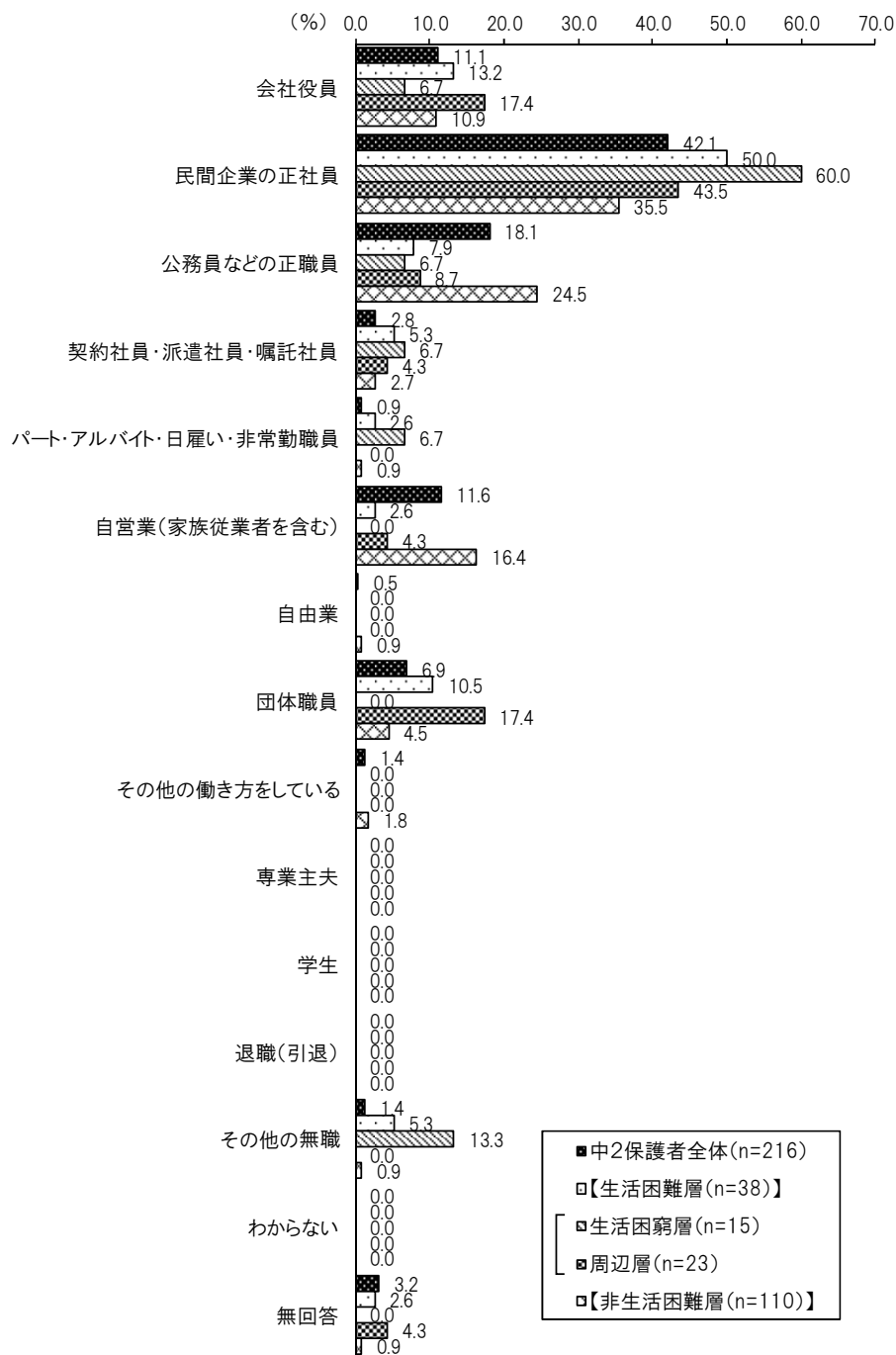
職業について、小学5年保護者全体では「民間企業の正社員」が48.4%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む）」(16.4%)、「公務員などの正職員」(12.3%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「民間企業の正社員」「契約社員・派遣社員・嘱託社員」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「民間企業の正社員」が42.1%と最も高く、次いで「公務員などの正職員」(18.1%)、「自営業(家族従業者を含む)」(11.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「民間企業の正社員」「その他の無職」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



(2) 就労時間

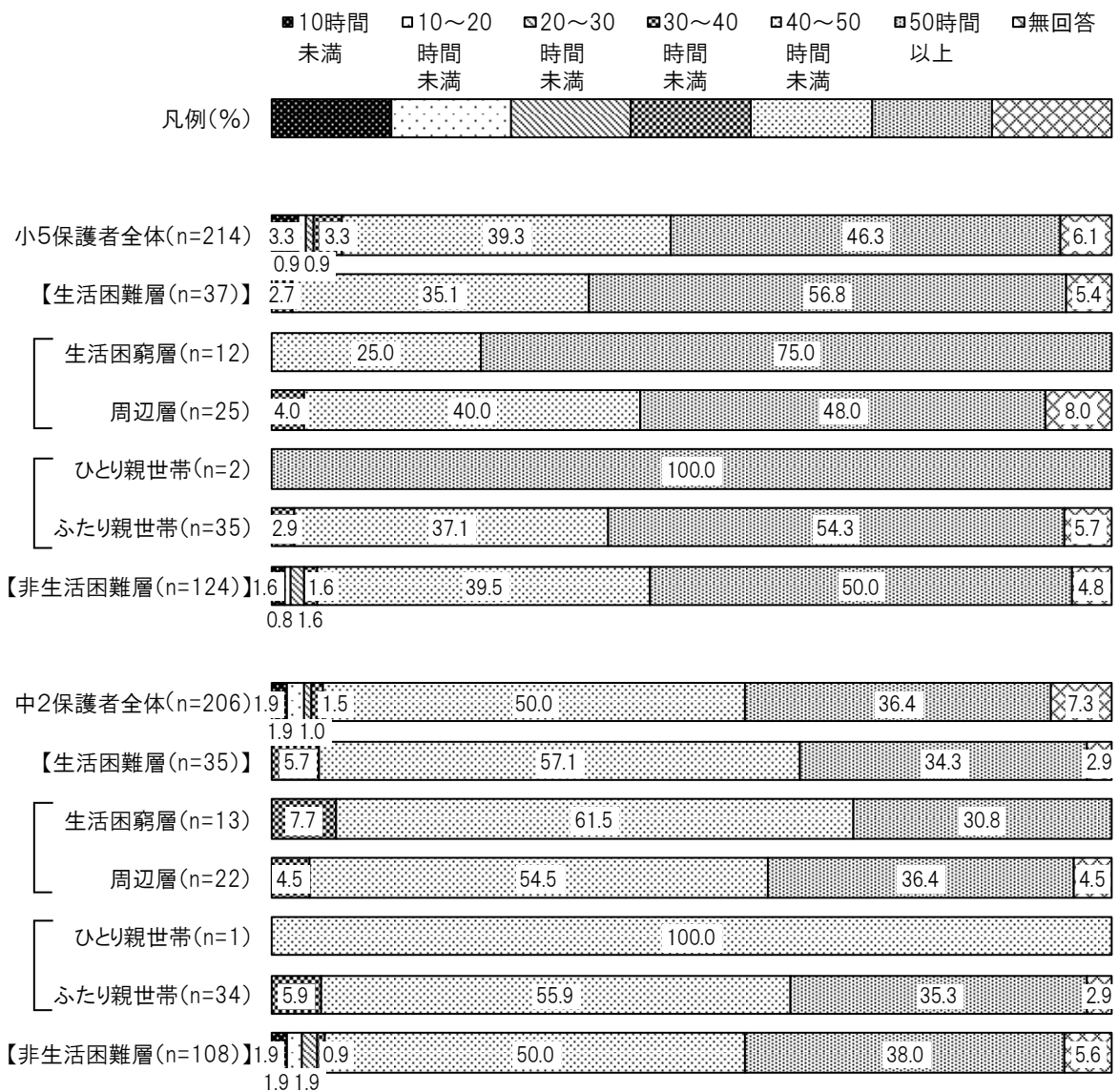
【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 11-1 お子さんのお父さまは、1 週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください。

就労時間について、小学5年保護者全体では「50 時間以上」が 46.3%と最も高く、次いで「40～50 時間未満」(39.3%)となっている。中学2年保護者全体では「40～50 時間未満」が 50.0%と最も高く、次いで「50 時間以上」(36.4%)となっている。

生活困難度別にみた「50 時間以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で 75.0%、中学2年保護者で 30.8%となっている。



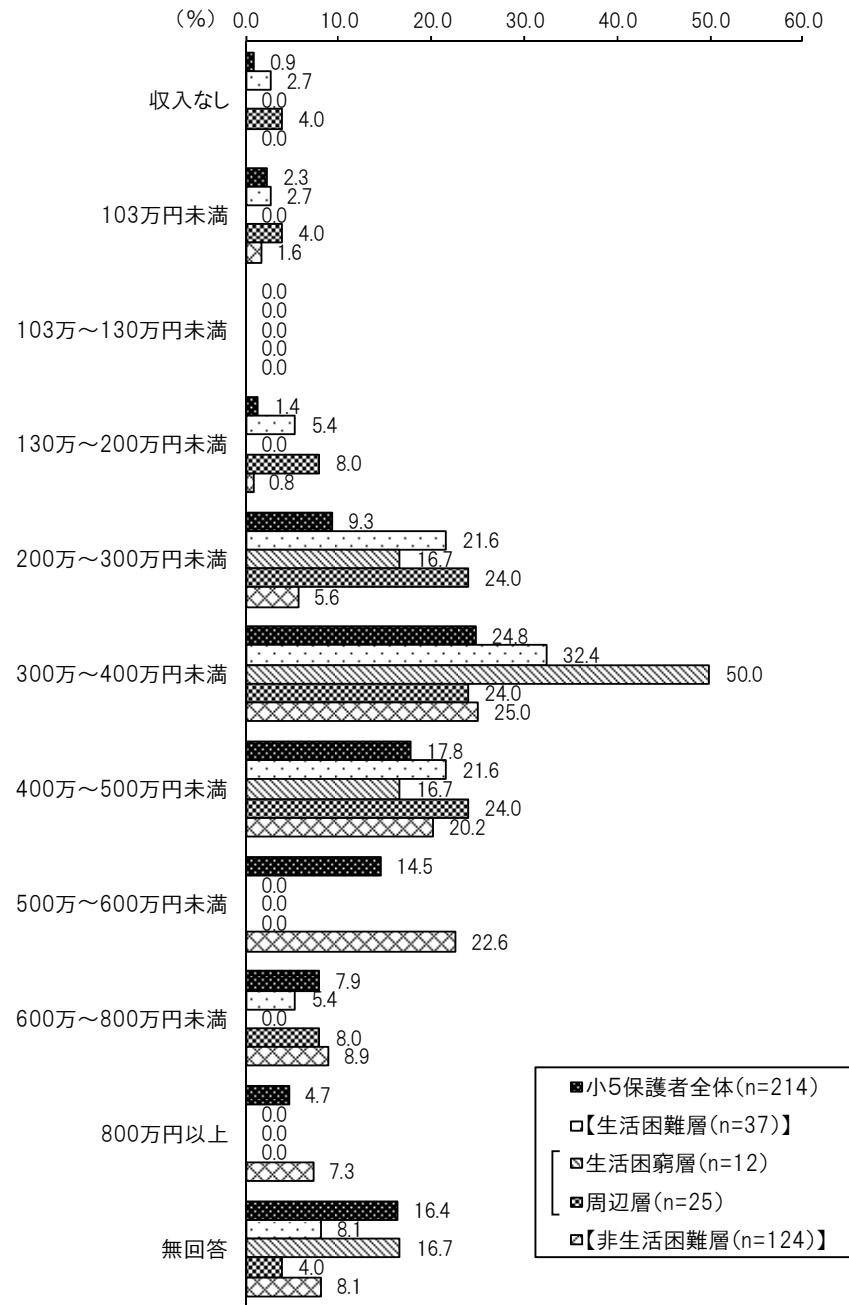
注：ひとり親世帯については、件数(n=)が少ないため参考値として参照

(3) 税込収入

【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 11-2 昨年1年間（平成 28 年1月～12 月）を合計した、お子さんのお父さま
 のお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。
 （枠内に数字で回答してください）
 ※収入がない場合には、0 をご記入ください。

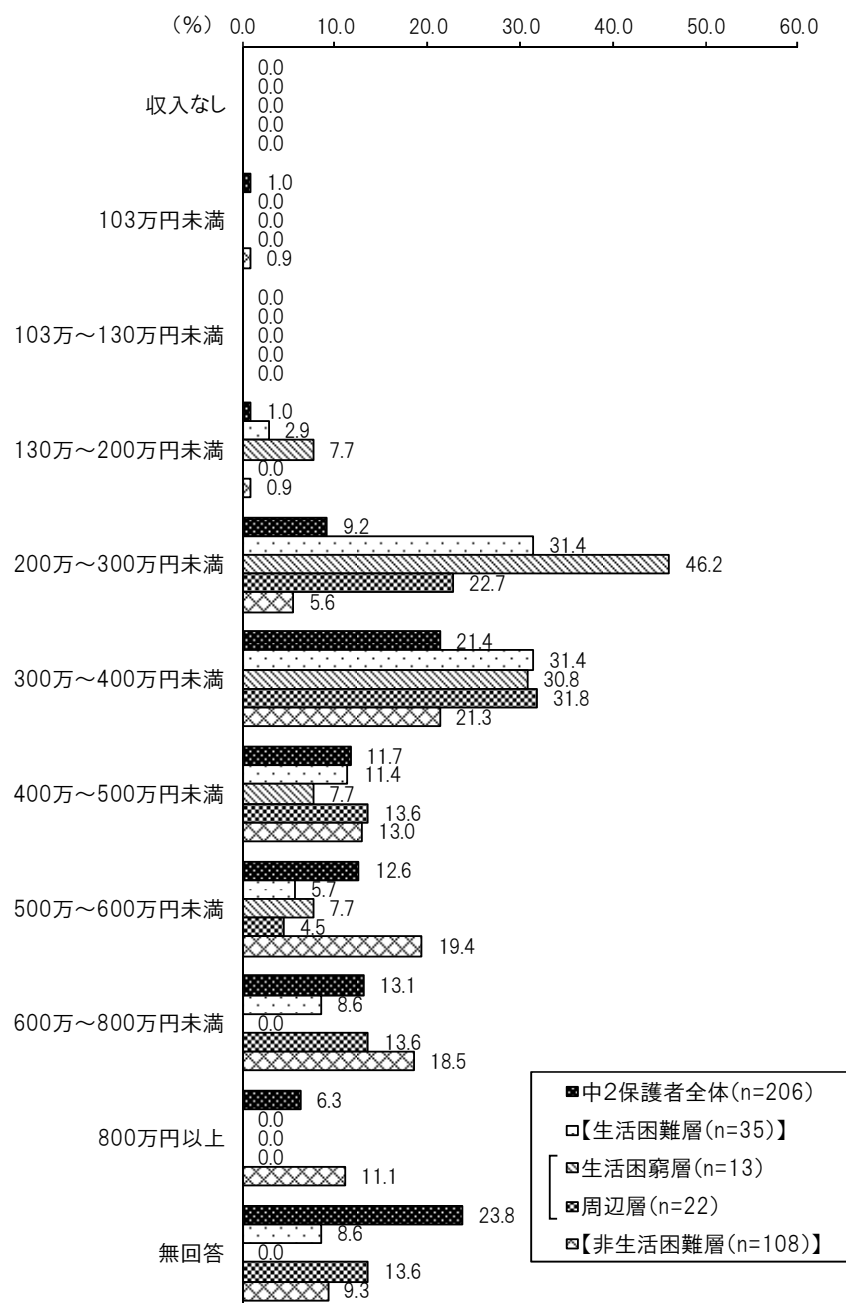
税込収入について、小学5年保護者全体では「300 万～400 万円未満」が 24.8%と最も高く、次いで「400 万～500 万円未満」（17.8%）、「500 万～600 万円未満」（14.5%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「300 万～400 万円未満」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「300万円～400万円未満」が21.4%と最も高く、次いで「600万円～800万円未満」(13.1%)、「500万円～600万円未満」(12.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「200万円～300万円未満」の割合が他の層を大きく上回っている。



(4) 平日日中以外の勤務状況

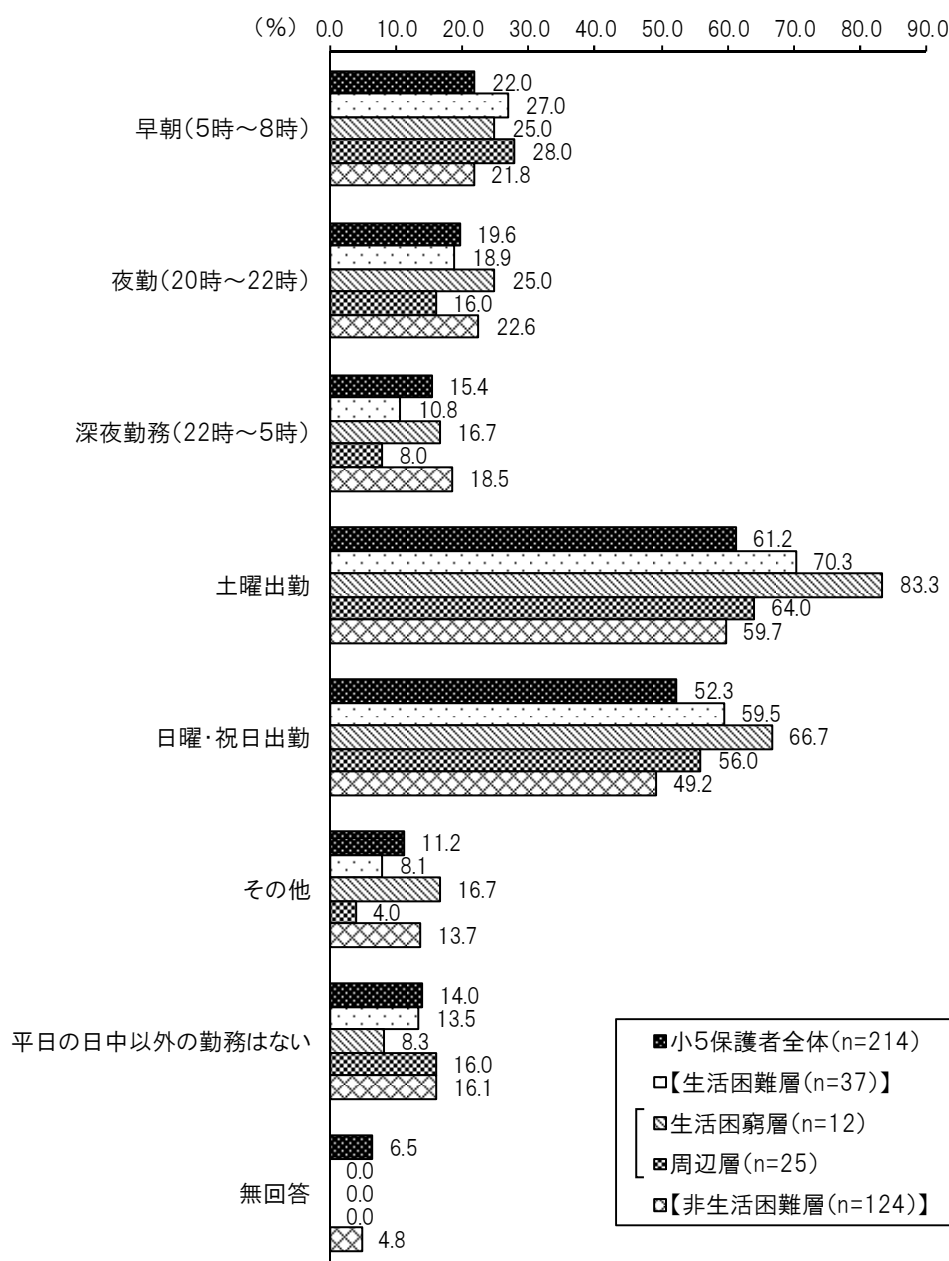
【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 11-3 お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

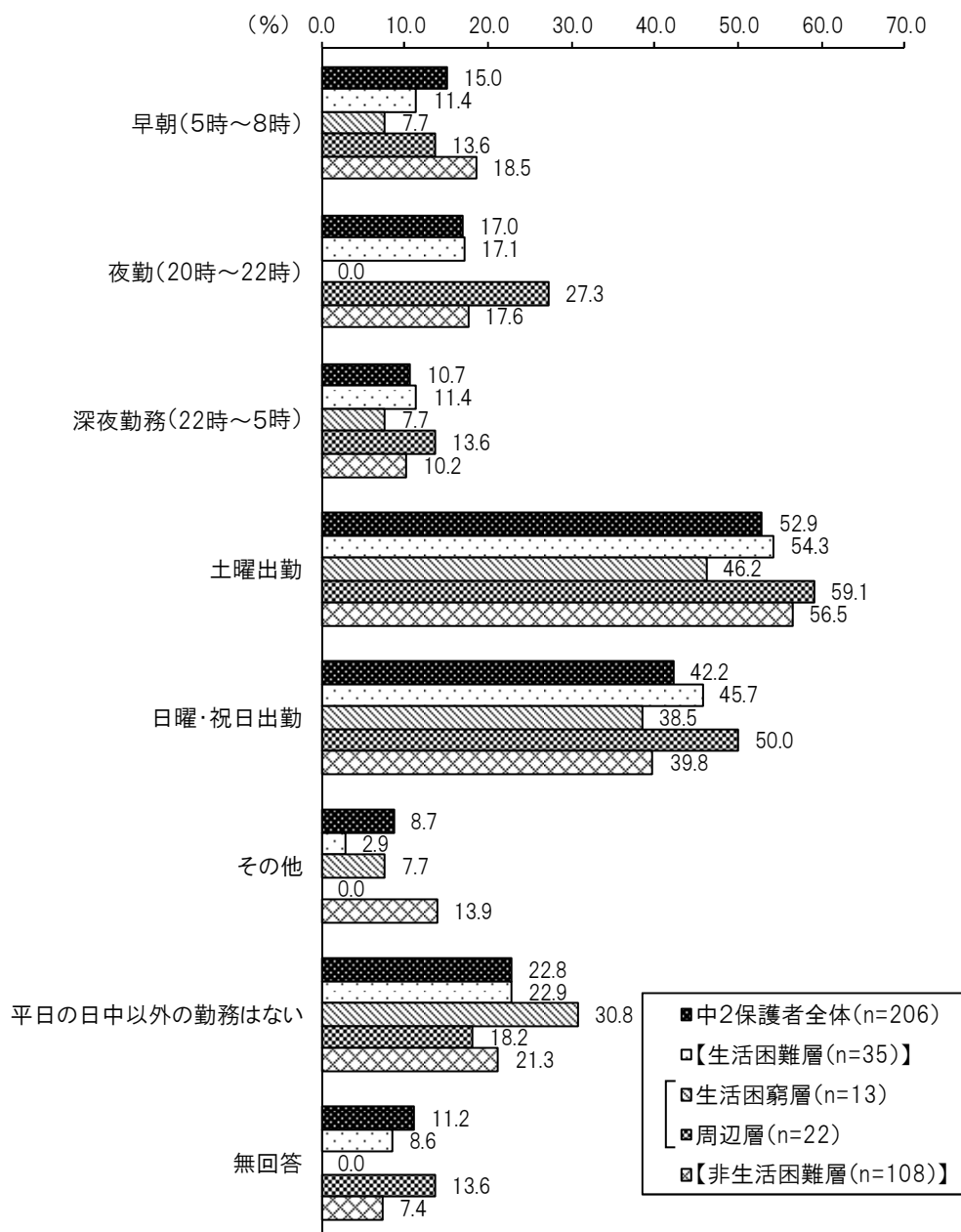
平日日中以外の勤務状況について、小学5年保護者全体では「土曜出勤」が61.2%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(52.3%)、「早朝(5時～8時)」(22.0%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「土曜出勤」が52.9%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(42.2%)、「平日の日中以外の勤務はない」(22.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「夜勤(20時～22時)」「土曜出勤」などの割合が低く、「平日の日中以外の勤務はない」の割合が高くなっている。

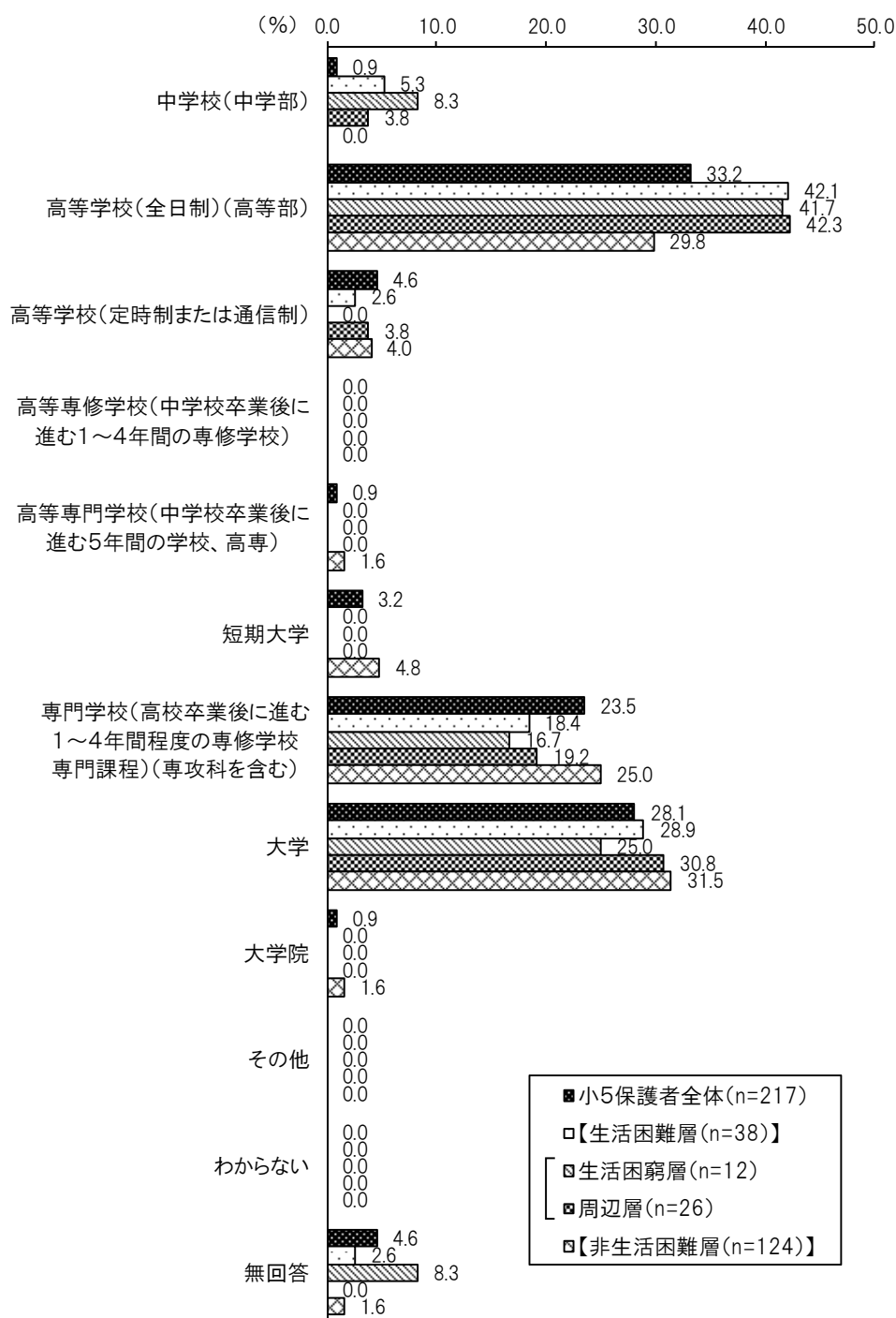


(5) 最終学歴

保／問 37 お子さんのお父さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

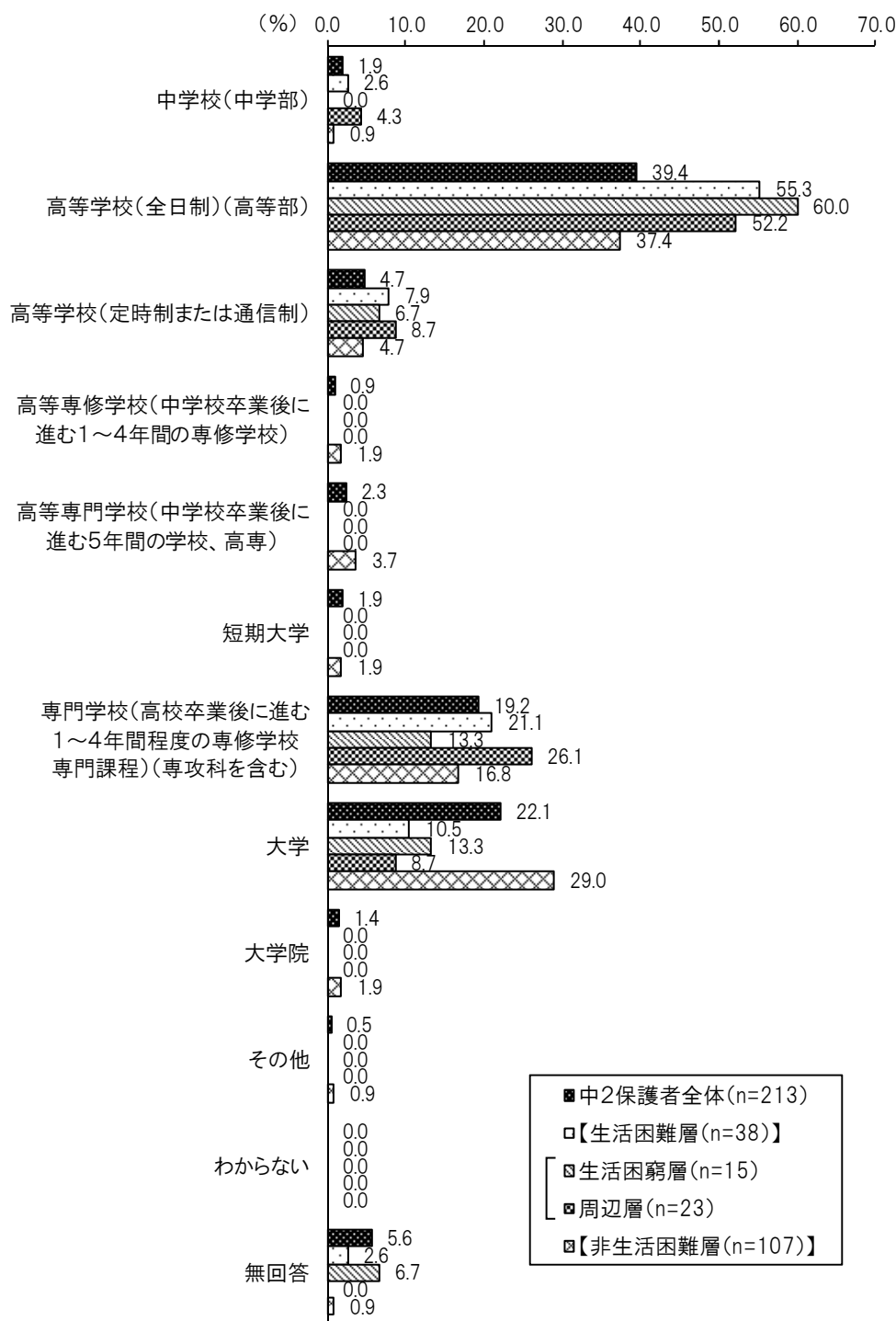
最終学歴について、小学5年保護者全体では「高等学校（全日制）（高等部）」が33.2%と最も高く、次いで「大学」（28.1%）、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（23.5%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」「大学」などの割合が低くなっている。



中学2年保護者全体では、「高等学校（全日制）（高等部）」が39.4%と最も高く、次いで「大学」（22.1%）、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（19.2%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」「大学」などの割合が低く、「高等学校（全日制）（高等部）」の割合が高くなっている。



(6) 最終学校の卒業の有無

【問 37 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。】

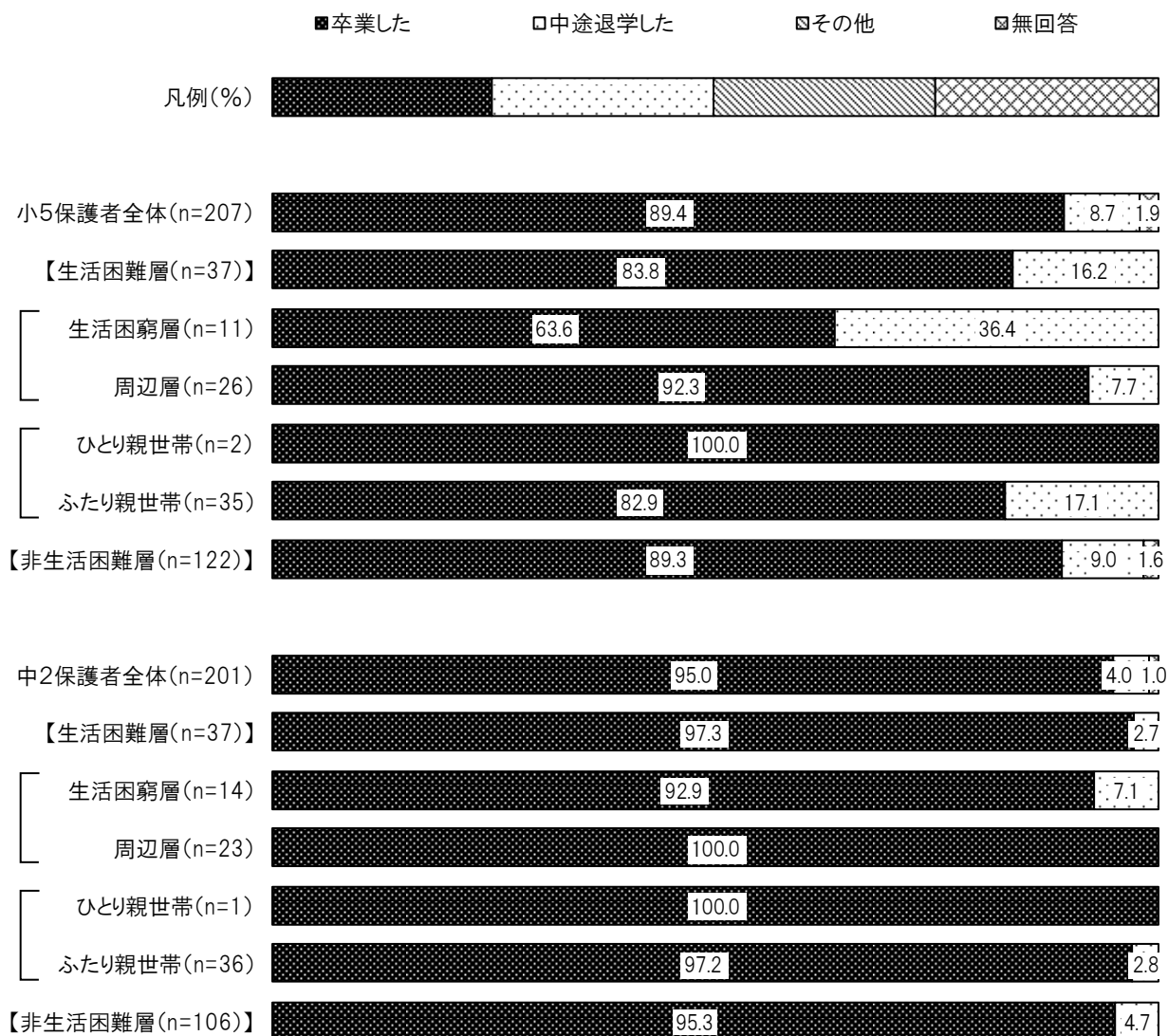
保／問 37-1 お子さんのお父さまは、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

最終学校の卒業の有無については、小学 5 年保護者全体では「卒業した」の割合が 89.4%、中学 2 年保護者全体では 95.0%となっている。一方、「中途退学した」の割合は、小学 5 年保護者全体では 8.7%、中学 2 年保護者全体では 4.0%となっている。

生活困難度別にみた「中途退学した」の割合は、小学 5 年保護者の生活困窮層で 36.4%、中学 2 年保護者で 7.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学 5 年保護者のふたり親世帯で「中途退学した」の割合が高くなっている。



注：ひとり親世帯については、件数(n)が少ないため参考値として参照

【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者の現在の職業については、「正社員」が 34.7%と最も高く、次いで「契約社員・派遣社員・嘱託社員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（各 20.4%）となっている。

問9 回答者の現在の職業	回答割合(%)	回答件数
正社員	 34.7	17
契約社員・派遣社員・嘱託社員	 20.4	10
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	 20.4	10
その他の無職	 12.2	6
自営業(家族従業者を含む)	 4.1	2
自由業	 2.0	1
専業主婦	 2.0	1
退職(引退)	 2.0	1
その他の働き方をしている	0.0	0
学生	0.0	0
わからない	0.0	0
無回答	 2.0	1
全体	100.0	49

児童扶養手当受給者の1週間の平均就労時間については、「40～50 時間未満」が 52.5%と最も高く、次いで「50 時間以上」（17.5%）、「30～40 時間未満」（12.5%）となっている。

問9-1 回答者の1週間の平均就労時間	回答割合(%)	回答件数
10時間未満	 10.0	4
10～20時間未満	0.0	0
20～30時間未満	 2.5	1
30～40時間未満	 12.5	5
40～50時間未満	 52.5	21
50時間以上	 17.5	7
無回答	 5.0	2
全体	100.0	40

児童扶養手当受給者の税込年収については、「200万～300万円未満」が27.5%と最も高く、次いで「130万～200万円未満」(25.0%)、「103万円未満」(17.5%)となっている。

問9-2 昨年の回答者の税込年収	回答割合(%)	回答件数
収入なし	0.0	0
103万円未満	17.5	7
103万～130万円未満	5.0	2
130万～200万円未満	25.0	10
200万～300万円未満	27.5	11
300万～400万円未満	10.0	4
400万～500万円未満	5.0	2
500万～600万円未満	0.0	0
600万～800万円未満	0.0	0
800万円以上	0.0	0
無回答	10.0	4
全体	100.0	40

児童扶養手当受給者の平日の日中以外の勤務形態については、「土曜出勤」が65.0%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(50.0%)、「平日の日中以外の勤務はない」(22.5%)となっている。

問9-3 回答者の平日の日中以外の勤務形態	回答割合(%)	回答件数
早朝(5時～8時)	20.0	8
夜勤(20時～22時)	20.0	8
深夜勤務(22時～5時)	10.0	4
土曜出勤	65.0	26
日曜・祝日出勤	50.0	20
その他	5.0	2
平日の日中以外の勤務はない	22.5	9
無回答	2.5	1
全体	100.0	40

現在仕事をしていない児童扶養手当受給者におけるその理由をみると、回答者8名中「自分の病気や障害などで働けないため」が3名、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が2名となっている。

問10 仕事をしていない理由	回答割合(%)	回答件数
自分の病気や障害などで働けないため	37.5	3
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	25.0	2
出産や子育てにより、まだ就労まで気が回らないため	12.5	1
学校に通うなどして資格や技能を身につけようとしているため	12.5	1
家族の介護をしているため	12.5	1
専業主婦(主夫)として子供を育てたいため	0.0	0
専業主婦(主夫)であることを家族等に希望されたため	0.0	0
子供が病気がちで付き添う必要があるため	0.0	0
その他	25.0	2
無回答	0.0	0
全体	100.0	8

現在仕事をしていない児童扶養手当受給者におけるその理由をみると、回答者8名中「働きたい」が4名、「働きたいが、病気・障害のため働けない」が3名となっている。

問10-1 今後働く意思	回答割合(%)	回答件数
働きたい	50.0	4
働きたいが、病気・障害のため働けない	37.5	3
働きたいが、家族の介護や育児のため働けない	12.5	1
働きたいが、次の理由で働けない	0.0	0
働きたいと思わない	12.5	1
無回答	0.0	0
全体	100.0	8

児童扶養手当受給者の最終学校については、「高等学校（全日制）（高等部）」が42.9%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（22.4%）、「短期大学」（10.2%）となっている。

問35 回答者の最終学校	回答割合(%)	回答件数
中学校(中学部)	4.1	2
高等学校(全日制)(高等部)	42.9	21
高等学校(定時制または通信制)	2.0	1
高等専修学校(中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校)	0.0	0
高等専門学校(中学校卒業後に進む5年間の学校、高専)	2.0	1
短期大学	10.2	5
専門学校(高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)(専攻科を含む)	22.4	11
大学	6.1	3
大学院	0.0	0
その他	4.1	2
わからない	2.0	1
無回答	4.1	2
全体	100.0	49

児童扶養手当受給者の最終学校の卒業有無については、「卒業した」が約8割、「中途退学した」が約1割となっている。

問35-1 最終学校の卒業有無	回答割合(%)	回答件数
卒業した	82.6	38
中途退学した	10.9	5
その他	0.0	0
無回答	6.5	3
全体	100.0	46

庄原市子供の生活実態調査 報告書

発 行 行／2018 年（平成 30 年）3 月
発 行 者／広島県 庄原市 児童福祉課
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10 番 1 号
T E L （ 0 8 2 4 ） 7 3 - 1 1 9 2
F A X （ 0 8 2 4 ） 7 5 - 0 1 9 5
